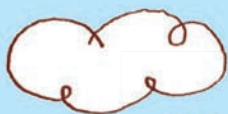


はじめのらぽ

in Komaki



スノソーシャルサポートガイド

～育ちに心配があるお子さんをお持ちのあなたへ～



勇気ある「はじめのいっぽ」のその先に、
お子さん、お母さん、お父さん、兄弟姉妹さん、
おじいちゃん、おばあちゃん、みなさんの
かけがえのない人生が、
笑顔あふれる毎日でありますように…



はじめのいっぽ
in Komaki

スペシャルサポートガイド

～育ちに心配があるお子さんをお持ちのあなたへ～

このガイドブックは特別な支援が必要なお子さんをお持ちの保護者の方に必要な行政情報を掲載しています。また、先輩ママたちからのお役立ち情報や、ひとことアドバイス、これまでの経験を振り返った手記も載せてあります。保護者の方だけでなく、地域や行政も一緒になってお子さんのことを支えていく体制づくりにお役立て下さい。



発育・発達

お子さんの発育や発達に不安を感じたら

公的な支援

お子さんに特別な支援が必要であるとわかったら

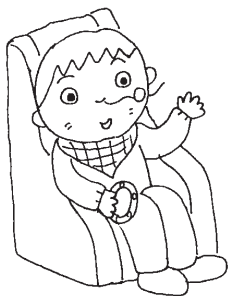
ライフステージごとの支援

医療・訓練機関

どこの病院に行ったらいい？

おすすめ情報

親の手記



？ どこに相談したらいいの？…………… P5

- ・市の相談窓口・相談機関…………… P5
- ・県の相談窓口・相談機関…………… P6
- ・発達障がいの理解のために…………… P8

？ 障害者手帳って？…………… P10

？ どんな支援が受けられるの？…………… P13

- 1.受けられる手当は？…………… P13
- 2.医療費が心配です…………… P16
- 3.福祉サービスってなに？…………… P18
- 4.福祉機器って高いのでは？…………… P21
- 5.税金などの控除はあるの？…………… P23
- 6.交通機関の割引などはあるの？… P24
- 7.災害への備えはどうしたらいいの？… P26

？ ライフステージごとの支援…………… P28

- ・ライフステージの流れ…………… P28
- ・乳幼児期の支援…………… P30
- ・特別支援教育って？…………… P36
- ・学童期・思春期の支援…………… P38
- ・学校を卒業してからの支援…………… P43

- ・公的な医療機関…………… P45
- ・大学病院…………… P46
- ・その他の医療機関…………… P47
- ・訓練機関、療育機関、相談機関など…………… P49

- 本人・親・支援者の会…………… P52
- おすすめお出かけスポットは??…………… P54
- 先輩お母さん・お父さんのオススの本は?…………… P56

- 親の手記…………… P63



欄外に「ひとことアドバイス」として、実際に特別な支援が必要なお子さんをお持ちの保護者の方々の体験談、失敗談、アドバイス等を掲載しています。(事例が全ての人に当てはまるわけではありません。)

この「はじめのいっぽ in Komaki」では、原則として「障がい」の表記を使用します。ただし、人の状態を表現していない場合、固有名詞の場合、法令などで使用する場合は「障害」を使用します。また、他から引用した文章や原稿を寄せていただいたページに関しては、「障害」で表記してある場合もあります。

このガイドブックの掲載情報は2019年1月現在のものです。

お子さんの発育や発達に不安を感じたら

？ どこに相談したらいいの？

「なかなかハイハイしないわ」「まだ歩かないの」「ことばが遅いみたい」「うちの子だけ周りとは違うかも・・・」など、子育てに不安はつきものです。どんな小さいことでも、ひとりで抱えこまずにいろいろな相談機関などを上手にを使って、不安や悩みを解消していきましょう。



〈市の相談窓口・相談機関〉

小牧市保健センター

常普請1-318

☎0568-75-6471
FAX 0568-75-8545

小牧市保健センターでは乳幼児の発育、発達などに関する様々な相談事業を行っています。お気軽にお問い合わせください。詳しくはP.30をご覧ください。

- 電話相談 平日 午前8時30分～午後5時15分（正午～午後1時を除く）
子育てについての不安・悩みなどの相談、健康に関する相談に保健師がいつでも応じています。まずはお電話ください。

子育て世代包括支援センター

小牧3-555

☎0568-71-8611
FAX 0568-71-8612

子育て世代包括支援センターでは、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じています。お気軽にご相談ください。詳しくはP.33をご覧ください。

- 電話相談 平日 午前10時～午後5時（正午～午後1時を除く）
- 育児相談
市内各児童館に年4回・保健師・助産師が出張し、育児相談(予約の必要なし)をしています。

小牧市ふれあいの家 あさひ学園

中央6-101

☎0568-77-0444
FAX 0568-77-0472

子育て上の不安や悩みなど、何でも話し合える場として、保護者の方のサポートをしていきます。詳しくはP.31をご覧ください。



春日井児童相談センター

春日井市神屋町713-8

☎0568-88-7501
FAX 0568-88-7502

赤ちゃんから18歳までの児童について、言葉や身体の発達などのいろいろな悩みなどについて専門的な立場から解決のお手伝いをします。

★予約受付：午前9時～午後5時30分（月曜日から金曜日）

愛知県総合教育センター

愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68

☎0561-38-9517
FAX 0561-38-2780

保護者及び支援機関等の要請に応じ、発達障がいを含め、障がいのある児童の発達を支援するための教育相談を行っています。

★予約受付：午前9時～午後5時（祝日を除く月曜日から金曜日）

あいち発達障害者支援センター

春日井市神屋町713-8

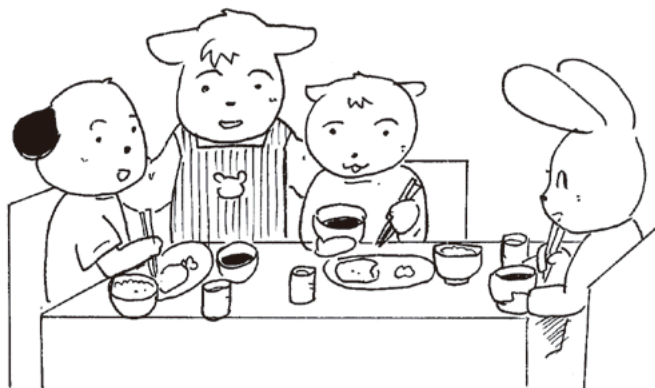
☎0568-88-0849
(電話相談)
FAX 0568-88-0964

発達障がいのある（又は心配される）方とご家族、支援者の方からの相談をお受けします。他に、メール相談や来所相談も行なっています。

来所相談（月・木実施）

予約は 0568-88-0811

詳しくはホームページをご覧ください。



特別支援学校（教育相談）

特別支援学校では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に在籍する障がいのある子どもたちや担当する教員などに対し、必要な助言・援助を行う地域の特別支援教育のセンターとしての役割を果たすよう努めています。特に、障がいのある乳幼児やその保護者に対して、子どもの発達段階や障がいに配慮した支援の在り方、遊びの工夫等について、早期からの教育相談が行われています。

聴覚障がい

一宮聾学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）

一宮市大和町刈安賀字上西之杵30 ☎0586-45-6000
FAX 0586-43-4462

視覚障がい

名古屋盲学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）

名古屋市千種区北千種1-8-22 ☎052-711-0009
FAX 052-723-6813

肢体不自由

小牧特別支援学校（小学部・中学部・高等部・訪問）

小牧市大字久保一色 1129-2 ☎0568-73-7661
FAX 0568-75-9380

知的障がい

春日台特別支援学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）

春日井市神屋町 713-8 ☎0568-41-8751
FAX 0568-88-5863

一宮東特別支援学校（小学部・中学部・高等部・訪問）

一宮市丹羽字中山 1151-1 ☎0586-51-5311
FAX 0586-78-8789

病弱・身体虚弱

大府特別支援学校（小学部・中学部・高等部・訪問（病院等の施設の訪問））

大府市森岡町7-427 ☎0562-48-5311
FAX 0562-44-0662

※各学校のホームページに詳細が掲載されています。

ワンポイントアドバイス

Q 特別支援学校に在学していないのに相談してもいいの？

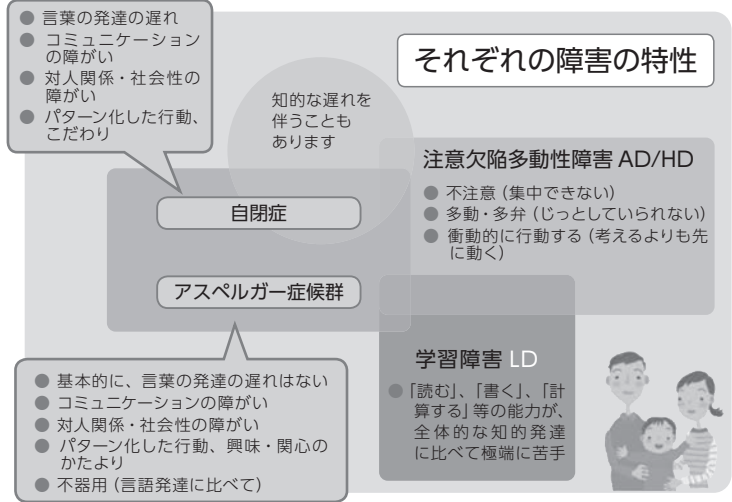
A 安心してご相談ください。平成19年に学校教育法が改正され、特別支援学校の「地域の特別支援教育のセンターとしての役割」が明確に位置づけられた現在では、就学前のお子さんや地域の小中学校に通うお子さん、または地域の学校の先生の相談も受けるなど、その専門性を生かし、支援方法などの的確なアドバイスを受けることのできる相談窓口のひとつとなっています。

発達障がい の理解のために

「発達障害」は、身近にあるけれども、社会の中で十分に知られていない障害でした。

また、「発達障害」のある人は、特性に応じた支援を受けることができれば十分に力を発揮できる可能性があります。従来はその支援体制が十分ではありませんでした。

このような背景を踏まえ、発達障害について社会全体で理解して支援を行っていくために、平成17年4月から「発達障害者支援法」が施行されています。



発達障がいってなんだろう？

自閉症



Aちゃんの例

急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると不安になり動けなくなることがよくあります。そんな時、周りの人が促すと余計に不安が高まって突然大きな声を出してしまうことがあります。周りの人から、「どうしてそんなに不安になるのかわからないので、何をしたらあげたらよいかかわからない」と言われてしまいます。

でも、よく知っている場所では一生懸命、活動に取り組むことができます。



アスペルガー症候群

Bくんの例

他の人と話している時に自分のことばかり話してしまって、相手の人にはっきりと「もう終わりにしてください」と言われないと、止まらないことがよくあります。周りの人から、「相手の気持ちがわからない、自分勝手にわがままな子」と言われてしまいます。

でも、大好きな電車のことになると、専門家顔負けの知識をもって、お友達に感心されます。



※「AD/HD」は、最近では「注意欠如多動性障害」と訳されることも多くなっています。

ここに示したのはあくまで一例であって、どんな能力に障がいがあるか、どの程度なのかは人によって様々です。子どもにも大人にもこれらの特徴をもつ人がいます。

発達障がいは障がいの困難さも目立ちますが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。そのため、下のイラストで紹介したような印象をもたれていることが多くあります。近年の調査では、発達障がいの特徴をもつ人は稀な存在ではなく、身近にいることがわかってきました。

発達障がいの原因はまだよくわかっていませんが、現在では脳機能の障がいと考えられていて、小さい頃からその症状が現れています。

早い時期から周囲の理解が得られ、能力を伸ばすための療育等の必要な支援や環境の調整が行われることが大切です。



Cさんの例

大事な仕事の予定を忘れて、大切な書類を置き忘れてりすることがよくあります。周りの人にはあきれられ、「何回言っても忘れてしまう人」と言われてしまいます。

でも、心配り名人で、困っている人がいれば誰よりも早く気づいて手助けすることができます。



注意欠陥多動性障害

AD/HD



Dさんの例

会議で大事なことを忘れまいとメモをとりますが、本当は書くことが苦手なので、書くことに必死になりすぎて、会議の内容がわからなくなることがあります。

後で会議の内容を周りの人に聞くので、周りの人から、「もっと要領よく、メモを取ればいいのに」と言われてしまいます。

でも、苦手なことを少しでも楽にできるように、ボイスレコーダーを使いこなしたりと、他の方法を取り入れる工夫をすることができます。

学習障害 LD

気になることがあれば、市町村の窓口や都道府県等の発達障害者支援センターに相談することができます。

「発達障がい」の相談窓口

発達障害者支援センター

各都道府県等で、発達障がい者の日常生活（行動やコミュニケーション等）についての相談支援や発達支援、就労支援（必要に応じて公共職業安定所、地域障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター等と連携）、普及啓発及び研修を行っています。

また、障がいの特性とライフステージにあわせた支援を提供するために、医療、保健、福祉、教育及び労働等の各関係機関と連携を図ります。



※参考資料：厚生労働省発行「発達障害の理解のために」より一部引用

お子さんに特別な支援が必要であるとわかったら

小牧市役所 障がい福祉課 障がい福祉係

☎0568-76-1127
FAX 0568-76-4595

? 障害者手帳って?

お子さんに何らかの特別な支援が必要であるとわかった時、保護者の方の思いはとても複雑なものだと思います。そんな中、障害者手帳の交付申請をすることに悩んだり、戸惑ったりするかもしれません。しかし障害者手帳を交付されることにより、さまざまな公的支援を受けることができます。



身体障害者手帳

身体に障がいのある方に交付されます。障がいの種類や程度により1級から6級まで区分され、その等級に応じて各種の福祉サービスを利用することができます。

身体障害者手帳の交付を受けることができるのは、下記の機能に障がいがある方です。

1. 視覚障がい
2. 聴覚または平衡機能の障がい
3. 音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障がい
4. 肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能）
5. 内部の機能障害（心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこうまたは直腸機能・小腸機能・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能・肝臓機能）



※障がいによっては、発症から一定期間を経過しないと認定されないものもありますのでご注意ください。

交付申請に必要なもの

- 申請書（障がい福祉課窓口にあります） ●印鑑
- 身体障害者診断書・意見書（障がい福祉課窓口にあります）
※手帳用の診断書を作成できる医師は定められておりますので、障がい福祉課や病院でご確認の上、診察を受けてください。（診断書・意見書は書類作成料がかかります）
- 本人の写真（縦4cm×横3cm、脱帽で上半身・スナップ写真を切り取ったものでも可）
※ポラロイドやデジカメで撮ったものを薄い紙にプリントアウトしたものは不可です。

療育手帳

知的機能、認識（物事がわかる力）やコミュニケーションなどに障がいのある方に交付されます。障がいの程度によりA～C判定まで区分され、その判定に応じて各種の福祉サービスを利用することができます。

療育手帳の交付を受けるには、まず判定のための面接を受けていただき、保護者の方からの聞き取りと、本人の発達状況の検査により判定を行います。判定結果（IQ＝知能指数）が下記に該当する場合は、療育手帳の交付を受けることができます。

●判定結果

A判定・・・IQ35以下 B判定・・・IQ36～50 C判定・・・IQ51～75

（※身体障害者等級が1～3級に重複該当する方は、IQ50以下の場合もA判定）

下記の機関にて判定を受けてください。（事前に予約が必要です）

春日井児童相談センター 春日井市神屋町713-8 ☎0568-88-7501 子育て世代包括支援センター(ラピオ3F)

再判定の出張相談をおおむね1ヶ月1回(第2水曜日)子育て世代包括支援センター(ラピオ3F)で実施しています

※初回判定や相談については春日井児童相談センターにお願いします。

※子育て世代包括支援センター(ラピオ3F)での出張相談については障がい福祉課で予約を受け付けます。

交付申請に必要なもの

- 申請書（障がい福祉課窓口にあります） ●印鑑
- 本人の写真（縦4cm×横3cm、脱帽で上半身・スナップ写真を切り取ったものでも可）
※ポラロイドやデジカメで撮ったものを薄い紙にプリントアウトしたものは不可です。



精神障害者保健福祉手帳

精神に障がいのある方に交付されます。障がいの程度により1級から3級まで区分され、その等級に応じて各種福祉サービスを利用することができます。

何らかの精神疾患（てんかん、発達障害などを含みます）により、長期に日常生活又は社会生活に制約のある方で、初診日より6ヶ月以上経過すると申請できます。

交付申請に必要なもの

- 申請書（障がい福祉課窓口にあります） ●印鑑
※精神障害者保健福祉手帳用の診断書（障がい福祉課窓口にあります）
- 本人の写真（縦4cm×横3cm、脱帽で上半身・スナップ写真を切り取ったものでも可）
※ポラロイドやデジカメで撮ったものを薄い紙にプリントアウトしたものは不可です。

※各種手帳の交付申請をする前に、事前に障がい福祉課や主治医の先生に相談してください。



【障害者手帳交付までの流れ】

申請



必要書類を用意し、
障がい福祉課にて申請します

判定・発行



(愛知県の各種機関で作成します)

交付



障がい福祉課窓口で手帳を受け取ります

※手帳の交付が決定したら、市から申請者の方へ通知を送付します

障害者手帳に関するお問い合わせ
障がい福祉課 障がい福祉係

☎0568-76-1127



ワンポイントアドバイス

※各種障害者手帳の有効期限及び更新手続きについて

○身体障害者手帳

定期的（状況により1～5年くらい）に障がいの部位や程度によっては再認定が必要な場合があります。この場合は愛知県より再認定の書類が届きます。（有効期限を定めていない場合もあります）

○療育手帳

定期的（状況により1～3年くらい）に再認定が必要となります。（再認定の時期に合わせて市役所よりお知らせします）

○精神障害者保健福祉手帳

有効期限が原則2年以内となっています。（再認定の時期に合わせて市役所よりお知らせします）



※再認定時期や有効期限などについては全て手帳に記載してありますのでご確認ください。
更新手続きが遅れた場合、各種補助や支援が受けられないことがありますのでご注意ください。

？ どんな支援が受けられるの？

障害者手帳をお持ちの方及びその家族の方は、手帳の区分や等級に応じ、手当や医療費などの助成、日常生活の支援などの福祉サービスを受けることができます。ここでは支援が必要なお子さんとその家族の方が受けることのできる手当や助成、福祉サービスを紹介します。



一部の制度は世帯の所得状況により対象とならない場合があります



1. 受けられる手当は？

【小牧市心身障害者扶助料】小牧市の制度です

市内にお住まいの障がいのある方に支給される手当です。

対象者 (所得制限があります)	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていて、小牧市に住所のある方 ※各種年金受給者は除きます ※施設入所者は除きます			
必要なもの	・申請書 ・障害者手帳 ・印鑑 ・通帳（本人名義）			
支給額 (3・9月に給付)	身障手帳	療育手帳	精神手帳	支給月額
	1～4級	A・B判定	1・2級	6,000円
	5～6級	C判定	3級	2,000円
	障害児福祉手当受給者			4,000円

【愛知県在宅重度障害者手当】愛知県の制度です

在宅の重度障害者の方への手当を支給します。下記のいずれかの条件に該当する方が対象です。

対象者 (所得制限があります)	1. 身体障害者手帳1級から2級の方 2. 療育手帳A判定 (IQ35以下) の方 3. 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B判定 (IQ50以下) の方 ※障害児福祉手当の受給者は除きます ※施設入所者及び3ヶ月以上の長期入院者は除きます。	
必要なもの	・申請書 ・身体障害者手帳又は療育手帳 ・印鑑 ・通帳 (本人名義) ・所得課税証明書 (転入者のみ)	
支給額 (4・8・12月に給付)	受給対象	支給月額
	・身体障害者手帳1・2級かつ療育手帳A判定	15,500円
	・身体障害者手帳1・2級または療育手帳A判定 ・身体障害者手帳3級かつ療育手帳B判定	6,750円

申請・問合せ ▶ 障がい福祉課 障がい福祉係 ☎0568-76-1127

【障害児福祉手当】 国の制度です

在宅の20歳未満の方で心身に著しく重度の障がいがあり、日常生活において常に特別な介護を必要とする方に支給される手当です。

対象者 (所得制限があります)	20歳未満で、下記のいずれかの条件に該当する方 1.身体障害者手帳1級程度の障がいのある方 2.IQが20以下の方 3.身体障害者手帳2級程度の障がいがあり、常時介護が必要な状態にある方 4.上記と同程度の障がいまたは病状で、常時介護が必要な状態にある方 ※愛知県在宅重度障害者手当の受給者は除きます ※施設入所者は除きます
必要なもの	・申請書 ・障害者手帳 ・印鑑 ・通帳(本人名義) ・障害児福祉手当認定診断書(不要の場合もあります)
支給額 (2・5・8・11月に給付)	支給月額 14,790円(条件により県の手当額が加算される場合があります。 詳しくはお問い合わせください)

【特別児童扶養手当】 国の制度です

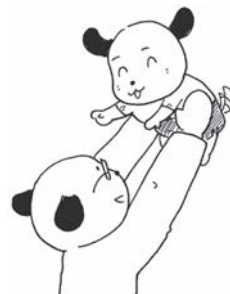
20歳未満の重度・中度の障がいのある児童、もしくは日常生活において常に介護を必要とする状況にある児童を養育している方に支給される手当です。

対象者 (所得制限があります)	身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A判定程度の児童を養育している方 ⇒手当1級	
	身体障害者手帳3級・4級の一部、療育手帳B判定程度の児童を養育している方 ⇒手当2級	
	じん臓、肝臓、血液等の疾病で日常生活において常に介護を必要とする児童、または精神障がいのある児童を養育している方 ⇒県において診断書等により判定を行った上で、手当の該当等級が決定されます	
必要なもの	・申請書・戸籍謄本(外国人の場合は在留カード等) ・通帳(養育者名義)・印鑑・口座申立書 ・特別児童扶養手当用診断書(不要の場合もあります)	
支給額 (4・8・11月に給付)	該当等級	支給月額
	手当1級	52,200円
	手当2級	34,770円

申請・問合せ

障がい福祉課 障がい福祉係

☎0568-76-1127



ワンポイントアドバイス

特別児童扶養手当の受給判定は、原則診断書によって行われますので、手帳のない方も受給の対象になる場合があります。障がい福祉課、医療機関等にお問い合わせください。

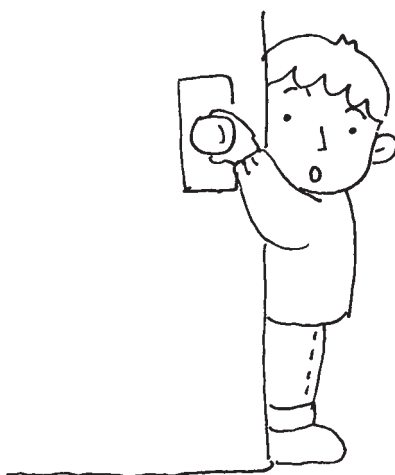
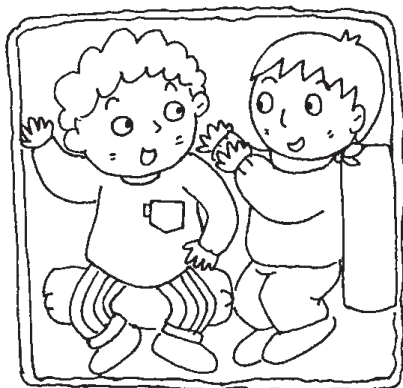
手帳をお持ちの場合は診断書が不要になる場合もありますが、手帳の交付申請と同時に特別児童扶養手当の申請をする場合は、手帳交付に時間がかかる場合があるため、診断書が必要となります。

※手帳の等級と手当の等級は一致しない場合があります。

※各手当は、物価変動に伴い支給額が変わる場合があります。



各手当受給者は、毎年8月ごろに所得状況調査(書類提出)があります。



ひとことアドバイス

各種手当については所得制限があり、申請したときは対象外だとしても次の年度に所得が変わって対象になる場合もありますので、窓口で確認してみてもいいです。各種手当の支給は申請した翌月分からのためにお早めに。

ひとことアドバイス

窓口で手帳を受け取る時に「障がい者福祉ガイドブック」もいただけます。その中に多くの支援情報が載っていますので、どの支援が受けられるかを確認しておくことをおすすめします。保護者が申請しないと受けられないので。

2. 医療費が心配です

お子さんにかかる医療費の助成を行います。障害者手帳がない場合にも助成を受けられる場合があります。

【子ども医療費助成制度】

小牧市内に住所があり、健康保険に加入している中学生までの(15歳に達する年の年度末まで)お子さんが医療機関で受診したときの保険診療にかかる自己負担額を助成します。



申請・問合せ

保険年金課 医療係

☎0568-76-1128

【障害者医療費助成制度】

小牧市内に住所があり、健康保険に加入している方で、下記のいずれかの条件に該当する方が、医療機関で受診したときの保険診療にかかる自己負担額を助成します。

心身障害者医療費の助成

1. 身体障害者手帳1級から3級の方(腎臓機能障害は4級以上)
 2. 療育手帳A・B判定の方
 3. 進行性筋萎縮症で身体障害者手帳4級から6級の方
 4. 自閉症候群・アスペルガー症候群等と診断された方(診断書が必要です)
- ※〔障〕医療費受給者証を窓口で発行します

精神障害者医療費の助成

1. 精神障害者保健福祉手帳1級または2級の方
※〔精〕医療費受給者証(全疾病用)を窓口で発行します
2. 精神障害者保健福祉手帳3級もしくは手帳を所持していない方
精神疾患により入院している方について保険診療にかかる自己負担額を1/2払い戻します(診断書が必要です)
3. 自立支援(精神通院)医療を受給している方
指定の医療機関で医療を受けた場合、自立支援医療適用後の通院医療費分を助成します
※〔精〕医療費受給者証(自立支援用)を窓口で発行します

申請・問合せ

保険年金課 医療係

☎0568-76-1128

ワンポイントアドバイス

自立支援(精神通院)医療とは…

国の制度で精神疾患(てんかんを含む)の治療に関して、通院による継続的な医療を受けた場合に医療費を助成する制度です。

詳しくは障がい福祉課(☎0568-76-1127)までお問い合わせください。



【医療給付制度】

未熟児養育医療

小牧市内に住所があり、身体の発育が未熟のまま出生した乳児（未熟児）で2000g以下の方、又は症状により医師が入院養育を必要と認めた方に、食事代（ミルク）を含む入院医療費を助成します。

申請・問合せ

保険年金課 医療係

☎0568-76-1128

自立支援医療（育成医療）

小牧市内に住所のある満18歳未満の児童で、生まれつきの障がいや放置すると将来において身体に障がいを残すと認められる病気等で、手術などの治療を行うことにより、その障がいが軽減されると医師が判定した方に、当該治療に必要な医療費の一部を助成します。

申請・問合せ

障がい福祉課 障がい福祉係

☎0568-76-1127

小児慢性特定疾病医療支援

愛知県内（春日井保健所管轄内）に住所のある満18歳未満の児童で、小児慢性特定疾病に指定されている疾患（756疾患）と診断された方に医療費を助成します。

※対象となる疾患名などについては直接お問い合わせください。

申請・問合せ

春日井保健所

春日井市柏井町 2-31

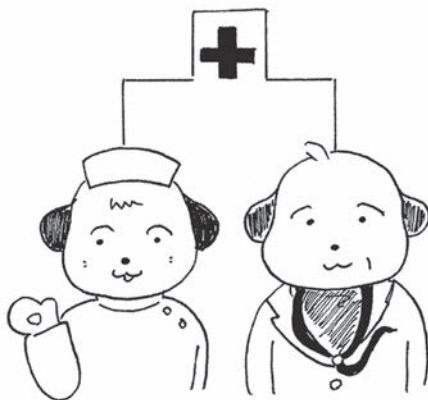
☎0568-31-2188

春日井保健所小牧保健分室

小牧市堀の内 3-1

☎0568-77-3241

※必要書類等は各申請先でお受け取りください。
世帯の所得状況に応じて一部自己負担がある場合があります。



ひとことアドバイス

【障】医療費受給者証や【精】医療費受給者証は、愛知県内でしか使えませんが、県外で受診した時にも、保険診療内で支払った額の領収書があれば、保険年金課医療係の窓口で手続きをして、通帳に振り込んでもらうことができますよ。

ひとことアドバイス

子どもは身体が弱く、入院も多かったので、医療費が無料で助かります。

ひとことアドバイス

うちの子はてんかん発作があるので、長年てんかん薬を飲みます。医療費助成があって本当に助かっています。

3. 福祉サービスってなに？






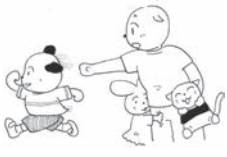


障害者手帳をお持ちの方及び発達障がい等の診断を受け、支援が必要と判断される方は福祉サービスをご利用いただけます。

(障害者手帳をお持ちでない場合は、診断書等の書類が必要になります)

【福祉サービス一覧】

18歳未満の児童が利用できる福祉サービスの一覧です。

※一部を除いてそれぞれのサービスには利用料がかかりますが、所得に応じて負担上限月額が定められます。

サービス名	内 容	備考
居宅介護 (ホームヘルプ)	 ヘルパーが家に来て、身の回りの手伝いをします(例：食事介助やお風呂の介助や着替えなど、児童への支援)	ヘルパーの支援内容には範囲があります
移動支援	 ヘルパーが徒歩や交通機関による児童の外出の手伝いをします	学校などへの送迎はできません
行動援護	 重い障がいのある児童のことをよくわかっているヘルパーがそばにいて、安心して外出できるよう支援します	学校などへの送迎はできません
短期入所 (ショートステイ)	 家族に用事などがあるときや病気や出産の場合などに、児童を短期間、施設に宿泊させることができます	
日中一時支援	 保護者の就労やレスパイト(休息)のために、一時的な児童のあずかり支援を行います	
児童発達支援	小学校就学前の障がい児に対して、日常生活や集団生活のルールなどを学ぶ身近な療育の場を提供します	
医療型 児童発達支援	上肢・下肢または体幹の機能の障がいがある児童へ児童発達支援や治療を行います	
放課後等 デイサービス	 学校に通う障がい児に対して、放課後や学校が休みの日に、生活能力向上のための訓練や居場所作りを行います。	
居宅訪問型 児童発達支援	居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行います。	
保育所等訪問支援	保育所等へ訪問し、障がい児以外の児童との集団生活への適応のために専門的な支援などを行います	
コミュニケーション 支援事業	 耳が不自由な児童に、手話通訳や要約筆記などによる支援を行います ※費用は無料です	聴覚・言語機能・音声機能の障がいをもつ人が対象です
訪問入浴 サービス	 重度の身体障がいを持ち、家庭での入浴が困難な児童に、訪問入浴車の派遣を行います ※費用は無料です	月5回まで利用できます

※事業所については、障がい福祉課等で配布している「障がい福祉サービス事業所一覧」をご覧ください。

【各種福祉サービスを受けるまでの流れ】

福祉サービスを利用するには、下記のとおり事前に申請が必要です。

1.相談・契約



サービス利用相談については、次頁の相談支援事業所や障がい福祉課に相談してください。

2.障害児支援計画案・サービス等利用計画案の作成・申請



各事業所の相談支援専門員がお子さんの心身の状況や生活環境などについてお聞きし、障害児支援計画案やサービス等利用計画案を作成し、計画案をもとに障がい福祉課にサービス利用の申請をします。(ご自身で計画を作成することもできます)

3.決定・交付

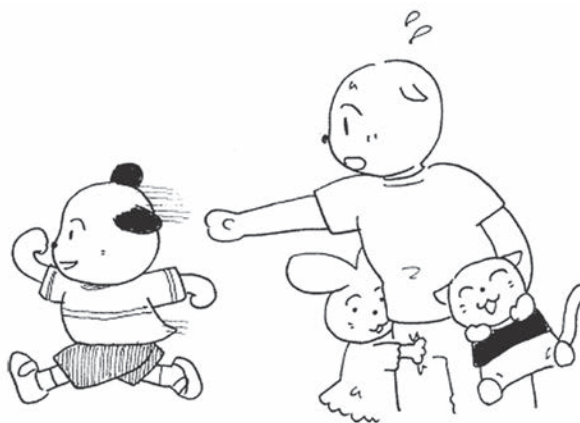


障害児支援計画案やサービス等利用計画案をもとに、サービスの種類や支給量が決定され、『障害福祉サービス受給者証』が自宅に郵送されます。

4.サービスの利用開始



契約に基づき、サービスの利用を開始します。受給者証は1年ごとに更新が必要です。(更新の時期に合わせて、市役所よりお知らせします)



ひとことアドバイス

子どもが小さいうちは、どうしても家族でなんとかがんばってしまいがちですが、福祉サービスを利用して、事業所さんやヘルパーさんと信頼関係ができると、体も心もう〜んと楽になりますよ。

ひとことアドバイス

日中一時支援を利用しています。兄弟姉妹のためや、自分自身のための時間をちゃんと持つことで、体も心もリフレッシュできて、穏やかな気持ちで子どもと向き合うことができました。

◆相談支援事業所

障がいのある方やそのご家族、支援者からの相談をお受けし、福祉サービスの利用、困りごとについての相談や必要に応じて専門機関等の情報提供、紹介を行います。相談料は無料です。

小牧市社会福祉協議会ふれあい総合相談支援センター	小牧5-407	☎0568-65-7050
相談支援事業ハートランド小牧の杜	大山208-8	☎0568-47-1288
サンフレンド障害者生活支援センター	大山208-3	☎0568-47-1881
サンビレッジ障害者支援センター	岩崎1432-10	☎0568-76-8811
地域活動支援センター本庄プラザ	本庄1087	☎0568-29-4525

サービス等利用計画、障害児支援計画を作る事業所

事業所名	サービス等 利用計画	障害児 支援計画	所在地	電話番号	主たる対象者
相談支援事業 ハートランド小牧の杜	○	○	小牧市大山岩次208-8	☎0568-47-1288	(身)、(知)、(精)、(児)
サンフレンド 障害者生活支援センター	○	○	小牧市大山岩次208-3	☎0568-47-1881	(身)、(知)、(精)、(児)
サンビレッジ 障害者相談センター	○	○	小牧市大字岩崎字山浦 1432-10	☎0568-76-8811	(身)、(知)、(精)、(児)
地域活動支援センター 本庄プラザ	○	○	小牧市本庄藤ノ木1087	☎0568-29-4525	(身)、(知)、(精)、(児)
ふれあい 総合相談支援センター	○	○	小牧市小牧5-407	☎0568-65-7050	(身)、(知)、(精)、(児)
アザレア作業所	○	○	小牧市本庄藤ノ木1087	☎0568-47-0841	(身)、(知)、(精)、(児)
相談支援さむ・わん	○	○	小牧市小牧4-212-1	☎0568-44-1520	(身)、(知)、(児)
メロディー 相談支援事業所	○	○	小牧市下小針天神1-11	☎0568-70-0547	(身)、(知)、(児)
いわざき授産所	○	×	小牧市岩崎1345-4	☎0568-75-7450	(身)、(知)、(精)
カフェ・しっぷ	○	○	小牧市上末3650-1	☎0568-47-2361	(身)、(知)、(精)、(児)
相談支援室 こぐまさん	○	○	小牧市掛割町65-1 パークフロイデ中村101号	☎0568-68-7233	(身)、(知)、(精)、(児)

※2018年11月現在

※障がい福祉課等で配布している「障がい福祉サービス事業所一覧」をご覧ください。

ひとことアドバイス うちの子は重度の心身障がい児。放課後等デイサービスで楽しめるのかな？と不安でしたが、とりこし苦労でした。いつもニコニコで帰ってきます。今では私たちに無くてはならない存在で、感謝の気持ちでいっぱいです。

ひとことアドバイス 子どもの障がいの種類や程度、家庭の事情によって、支援が必要な場面はまちまち。自分たちは、どんな時、どんな風に困っているのか？その時どんなサービスが受けられるのか？まずは障がい福祉課に相談してみると、良い手だてが見つかるかもしれません。

4. 福祉機器って高いのでは？

日常生活に必要なものの費用の助成や、用具の貸し出し事業などを行っています。



【補装具費の支給】 国の制度です

障がいにより失われたり低下した身体機能を補うための用具を購入・修理する際、その費用の一部を支給します。(治療用装具とは扱いが異なります)

※世帯の所得状況によっては、給付の対象外になる場合があります

対象者	身体障害者手帳の交付を受けており、品目ごとの条件にあてはまる方
主な品目	車いす くつ型装具 座位保持装置 補聴器など
必要なもの	・申請書 ・障害者手帳 ・印鑑 ・医師の意見書 ・見積書 など
自己負担額	品目ごとの基準額の範囲内において見積額の5% (ただし、負担が重くならないように、所得に応じ支払う費用の上限があります) ※基準額を超える部分については全額自己負担です
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係 ☎0568-76-1127

※必ず購入・修理する前に申請の手続きを行ってください。(購入後の払い戻しはできません)

ワンポイントアドバイス

補装具の使用目的によっては「子ども医療」の対象になる場合があります。医療機関にお問い合わせください。(足の装具やコルセットなど)



【日常生活用具の給付】 小牧市の制度です

障がいのある方が、日常生活の向上に役立つ生活用具を購入する際、その費用の一部を支給します。

※世帯の所得状況によっては、給付の対象外になる場合があります

対象者	主に在宅で生活する障がいのある方で、品目ごとの条件にあてはまる方
主な品目	紙おむつ 頭部保護帽 たん吸引器など
必要なもの	・申請書 ・障害者手帳 ・印鑑 ・見積書 ・用具のカタログ など ※医師の意見書が必要となる場合があります
自己負担額	品目ごとの基準額の範囲内において見積額の5% ※基準額を超える部分については全額自己負担です
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係 ☎0568-76-1127

※必ず購入・修理する前に申請の手続きを行ってください。(購入後の払い戻しはできません)

ワンポイントアドバイス

日常生活用具の給付の品目、対象者及び基準額の一覧表が、「障がい者福祉ガイドブック」に記載されていますのでご確認ください。



ひとことアドバイス 紙おむつの助成は、3歳以上です。おむつは体が大きくなってくると、1枚あたりが高いため、ご自分のお子さんが該当するか問い合わせてみては？

ひとことアドバイス 子どもにあった補装具を作るのは、親もよく勉強しておかないと、なかなか良いものは作れません。できる・できないにかかわらずどんどん親も意見を言ったほうがいいなあと思いました。同じ補装具を作った先輩お母さんから、体験談を聞いておくのもオススメ☆

【軽度・中等度難聴児補聴器購入費の給付】小牧市の制度です

障害者手帳の交付対象とならない軽度から中等度の難聴のある児童について、補聴器を購入・修理した際、その費用の一部を支給します。

※世帯の所得状況によっては、給付の対象外になる場合があります

対象者	聴力レベルが両耳とも30dB以上で、身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の児童
必要なもの	・申請書 ・印鑑 ・医師の意見書 ・見積書 など
自己負担額	補聴器の品目ごとの基準額の3分の1（1円未満の端数切り下げ） ※基準額を超える部分については全額自己負担です。
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係 ☎0568-76-1127

※必ず購入・修理する前に申請の手続きを行ってください。（購入後の払い戻しはできません）

【住宅改修に関する補助】小牧市の制度です

在宅での生活を容易にするため、居室・浴室・トイレなどの改善・改修について助成します。

対象者	下肢・体幹機能・視覚障がいのいずれかの障がい等級が1・2級の方
必要なもの	・申請書 ・事業計画書 ・印鑑 ・障害者手帳 ・工事見積書 ・工事前及び工事後の平面図 ・改善前の写真
助成金額	自己負担は1割です。（補助限度額 270,000円（消費税含む））
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係 ☎0568-76-1127

※工事日の1ヶ月前までに書類を準備して障がい福祉課までご提出ください。
（やむを得ない事情により1ヵ月以内に施工する必要がある場合はご相談ください。）

【福祉機器の貸し出し】小牧市社会福祉協議会の事業です

在宅にて介護を受けている方に福祉機器を貸し出します。

機器の種類	貸し出し期間	対象者
車いす	貸出日より3ヶ月（無料） 3ヶ月を超えた1年間 3,500円 （リクライニング 4,000円）	小牧市民で福祉機器を必要とされている方
ベッド	3ヶ月以内 手動 4,000円 電動 5,500円 3ヶ月を超えた1年間 手動 3,500円 電動 3,500～4,000円	
申請・問合せ	小牧市社会福祉協議会	☎0568-77-0123

【リフト付自動車の貸し出し】小牧市社会福祉協議会の事業です

機器の種類	貸し出し期間	対象者
普通自動車 軽自動車	原則3日以内	小牧市民及び市内の福祉施設・福祉関係者その他必要と認められる方
費用等	原則燃料満タン返し（もしくは10キロあたり200円で精算）	
申請・問合せ	小牧市社会福祉協議会	☎0568-77-0123

ひとことアドバイス 車会社の営業さんに、「うちの子障がいがあるので、将来は福祉車両になるかも」と言ったら、カタログを集めて持ってきてくれました。

5. 税金などの控除はあるの？

税金の各種控除が受けられる場合があります。

【所得税・住民税の控除】

障がいのある方の生活援助として、税金の控除を行うものです。

対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方または扶養している方(所得制限がある場合がありますのであらかじめお問い合わせください)	
手続き	確定申告、年末調整の際に手帳を提出して申告してください	
申請・問合せ	〈住民税〉市民税課 市民税係	☎0568-76-1182
	〈所得税〉小牧税務署	☎0568-72-2111

【自動車取得税・自動車税の減免】愛知県の制度です

18歳未満の障がいのあるお子さんと生計を同一にする方が車を購入・保有する場合に、税金の減免を行うものです。



対象者	身体障害者手帳1～3級程度（障がい部位の制限あり）、療育手帳A判定、または精神障害者保健福祉手帳1級の18歳未満の方と生計を同一にしている方	
申請・問合せ	〈普通自動車〉東尾張県税事務所	☎0568-81-3139
	〈軽自動車〉市民税課 税制係	☎0568-76-1114
	〈自動車取得税〉名古屋東部県税事務所	☎052-953-7865

【NHK放送受信料の減免】



対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・全額免除 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持している方がいる世帯で、その世帯に属する全員が市民税非課税である場合 ・半額免除 契約者が世帯主で、重度の身体や知的又は精神障がい、視覚・聴覚障がいを持つ場合。 	
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係	☎0568-76-1127
	NHK ナビダイヤル	☎0570-077-077

ワンポイントアドバイス

全て申請が必要になるので、各種窓口にご相談ください



6. 交通機関の割引などはあるの？



【タクシー料金又はガソリン代の助成補助】 (選択性) 小牧市の制度です

外出の支援として、タクシーの初乗料金又はガソリン代の補助をしています。

対象者	身体障害者手帳1～3級の方、療育手帳A・B判定の方 精神障害者保健福祉手帳1・2級の方	
助成内容	タクシー券：初乗料金分が無料になるチケットを年間48枚交付 ガソリン代：年間48リットル(4リットル券を12枚)分給油できるチケットを交付	
申請・問合せ	障がい福祉課 障がい福祉係	☎0568-76-1127

【タクシー料金割引制度】

障がいのある方がタクシーに乗るとき、料金の割引を行います。



対象者	身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている方
助成額	メーター料金の1割 ※タクシー料金助成券との併用もできます。
手続き	乗車の際に、手帳を掲示してください
申請・問合せ	各タクシー会社

【こまき巡回バス利用の助成】小牧市の制度です

障がいのある方が巡回バスを利用するとき、本人と付き添いの方の運賃が無料になります。



対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付き添いの方1人	
助成額	運賃全額	
手続き	乗車の際に、手帳を掲示してください	
申請・問合せ	都市政策課 交通政策係	☎0568-76-1138

ひとことアドバイス

「駐車禁止除外指定車標章」も、小牧警察署に申請すると、該当する方に交付されますが、標章を使って駐車する上でも、ちゃんと守るべきルールがあります。黄門様の印籠ではないので、きちんと使いましょうね。

【ピーチバス利用の助成】

障がいのある方がピーチバスを利用するとき、本人と付き添いの方の運賃が半額になります。

対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付き添いの方1人	
助成額	運賃半額	
手続き	乗車の際に、手帳を掲示してください	
申請・問合せ	あおい交通	☎0568-79-6464

【有料道路割引制度】

障がいのある方と同乗して有料道路を利用するとき、通行料の割引を行います。

対象者	身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けており旅客鉄道株式会社運賃減額の種類が1種の方 ※交通運賃の減額の種類は手帳に記載されています。 ※利用できる車は1台に限られます。 ※対象自動車の要件があります。(車の所有者は原則本人又は親族)	
必要なもの	・障害者手帳 ・車検証 (ETCを利用する場合は下記のものも必要になります。) ・ETCカード (原則本人名義のもの。児童の場合は保護者名義のもの) ・ETC車載器セットアップ申込書・証明書	
助成額	通常料金の半額割引	
手続き	事前に障がい福祉課での手続きが必要です。 (ETCの登録の場合は約2週間ほどかかります)	
申請・問合せ	ETC割引登録係 障がい福祉課 障がい福祉係	☎045-477-1233 ☎0568-76-1127

ワンポイントアドバイス

有料道路割引制度の有効期間について
新規及び変更の場合…申請日からの、その後の2回目の誕生日までとなります。
更新申請の場合…申請日から、その後の3回目の誕生日までとなります。
更新申請は有効期間満了日2ヶ月前からできます。



【各種交通機関の割引】

障がいのある方が鉄道、バス、地下鉄、旅客機などを利用するとき、割引が適用されます。

対象者	身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている方 ※精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方も対象になる場合があります。	
助成内容	乗車券をご購入の際に手帳を掲示してください。 ※各交通機関によって対象となる障害程度や割引率が異なります。	
申請・問合せ	各交通機関	

ひとことアドバイス

高速道路を使って家族で遠出するときは、「まずは手帳を持ったかな？」と確認するようにしています。前に忘れて痛い目があったことがあるので…。(レジャー施設の割引とかもありますね。)

7. 災害への備えはどうしたらいいの？

【避難行動要支援者支援制度】

避難行動要支援者支援制度とは、災害の発生やその恐れがあるときに、自力で避難が難しい高齢者や障がいのある方などに対して、災害（避難）情報の伝達や避難場所への誘導など、区長、民生・児童委員、自主防災組織、地域住民の方など地域が連携して支援をする制度です。情報提供に同意することで、地域の支援者の方による日ごろの見守り（声かけ等）や災害が起きたときの安否確認、避難の手助けなどの支援につながります。

対象者	身体障害者手帳1～3級の方 療育手帳A・B判定の方
必要なもの	・避難行動要支援者情報 提供希望調査票（兼申請書）・印鑑
手続き	調査票（申請書）で「同意する」と申請してください。
提供する内容	・氏名・生年月日・住所・電話番号 ・支援を必要とする理由 ・その他支援に必要と思われる事項
情報提供先	区長、民生・児童委員、自主防災組織、小牧市社会福祉協議会、小牧警察署、小牧消防署などの支援者 ※地域住民の方（ご近所の方）が支援者となります。 区に未加入の方は区に加入しましょう
申請・問合せ	福祉総務課 庶務係 ☎0568-76-1196

ワンポイントアドバイス

災害時には、同意する、同意しないに関わらず、支援は受けられます。災害の状況によっては、支援者の方も被災者となり得ることから災害時の支援が必ずしも保証されるものではありません。自分の身を守るため、日ごろから災害の備えをしておくことが大切です。



ひとことアドバイス

ご自分の地区の民生・児童委員さんと顔見知りになっておくと、地域での困りごとがあった時に安心ですし、地元の理解者を増やすきっかけにもなります。ご自分の地区の委員さんを知りたい時は、市役所の福祉総務課に問い合わせると教えていただけますよ。

【ヘルプマーク、ヘルプカード】

●ヘルプマークって？

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、又は妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助が受けやすくなるように作成されたマークです。

マークは希望の方に無償で配布します。障害者手帳や身分証明書の提示は不要で、援助や配慮を必要とする方であればどなたでもご利用いただけます。

配布は小牧市役所 障がい福祉課、保健センター及び子育て世代包括支援センターの窓口で行っております。

ワンポイントアドバイス

ヘルプマークはカバンなどにつけられるようになっています。ヘルプマークを見かけたら電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



●ヘルプカードって？

障がいのある方が、自分の緊急連絡先や必要な支援内容などを記載し、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自分の障がいへの理解や支援を求めることができるように作成されたカードです。

小牧市でも作成されているので、小牧市 ヘルプカードで検索してみてください。

問合せ

障がい福祉課 障がい福祉係

☎0568-76-1127



ひとことアドバイス

日ごろから災害時への備えをし、家族で災害時にはどうするかを決めておくことが大切だと思います。また「災害時緊急情報カード」に個人情報を記入し持ち歩いたり、自宅に置いておくことも災害時に役立つと聞き準備しようと思います。チェックリストと災害時緊急情報カードは小牧市障がい福祉課にありますよ。

ライフステージごとの支援 ライフステージの流れ

乳幼児期

学童期

出生 0歳 4か月 1歳6か月 2歳3か月 3歳 6歳

健診 健診 歯科健診 健診

医療
・
母子保健

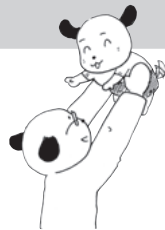
医療機関
保健センター(乳幼児健診、相談)

相談
・
療育

あさひ学園
児童発達支援
子育て世代包括支援センター

学校教育課
家庭児童相談室
障害児相談支援事業所

保育
・
教育



保育園

幼稚園
特別支援学校 幼稚部

・小学校
通常学級
特別支援学級
・特別支援学校 小学部



放課後
等支援

児童クラブ

福祉
・
その他

訪問看護
ファミリーサポート

訪問リハビリ
短期入所(ショートステイ)

成長記録ノート



個別支援計画
サービス等利用計画

ひとことアドバイス

母67歳、障がいの娘45歳がショートステイを利用することになりましたが、その契約書類の中に子どもの頃の様子や入院、手術のことを記載する欄があり困ってしまいました。そんな時、成長記録ノートのようなものがあるととても助かると思います!!

お子さんに特別な支援が必要な場合、就園や就学、進学そして就職など将来への不安は尽きないと思います。ここでは、この先お子さんがどのような支援を受けることができるのかをライフステージごとにまとめました。



思春期

青年期

12歳

15歳

18歳

※年齢に関わらずどの機関にも相談できます

児童相談センター
あいち発達支援センター
愛知県総合教育支援センター
特別支援学校教育相談

障害者相談支援事業所
障害者就業・生活支援センター

- ・中学校 通常学級
- ・特別支援学級
- ・特別支援学校 中学部

- ・高等学校 (全日制の他に、単位制による定時制課程(昼間普通科)学年制による定時制課程(夜間・普通科・商業科)通信教育もあります)
- ・特別支援学校 高等部
- ・高等特別支援学校

※フリースクールや民間の教育機関もあります 職業訓練校

放課後等デイサービス

居宅介護(ホームヘルプ)
日中一時支援 等
※必要な時期に相談しましょう

グループホーム(共同生活援助)

一般就労

就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
生活介護



個別教育指導計画
障害児支援計画 等

サービス等利用計画
就労支援計画

乳幼児期の支援

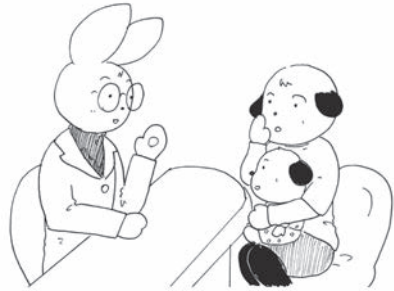
小牧市保健センター 常普請1-318

☎0568-75-6471

●乳幼児健診

4か月、1歳6か月、2歳3か月、3歳の健診で、お子さんの発育や発達、育児についての相談をすることができます。

例) 寝返りしない、ハイハイしない、歩き方が気になる、ことばが遅い、かんしゃくが強い、お子さんとの接し方が分からない など



また、集団と一緒に健診を受けることに配慮が必要なお子さんは、できる限りの対応をさせていただきますので、事前に保健センターへご相談下さい。

●発達相談、運動発達相談（完全予約制、個別相談）

お子さんの発育や発達、育児について、専門家（臨床心理士や作業療法士）に気軽に相談することができます。事前に保健センターへご相談下さい。

●なかよし教室（完全予約制、少人数の集団あそびの教室です）

あそびを通して、お子さんの発育や発達、育児についての相談をすることができます。事前に保健センターへご相談下さい。

●成長記録ノートの作成（希望者に作成）

お子さんの発育、発達の様子などを、保護者の方と一緒に作成するノートです。お子さんの発育や発達を整理することができます。保育園や幼稚園、小学校などでお子さんに配慮が必要な場合などに、お子さんの様子を客観的に伝えることができます。希望される方は、保健センターへご相談下さい。



●育児相談（電話、面接、訪問）

育児全般に関することについて、随時、相談を行っています。気軽に相談してください。
(相談時間 平日8時30分～17時15分 正午～13時を除く)

※こまねっと（育児相談専用電話）について

育児不安等に対し、身近な相談窓口として保健センター及び子育て世代包括支援センターで子育て電話相談を受け付けています。

◆保健センター ☎0568-75-7288 ◆子育て世代包括支援センター ☎0568-75-2005

月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)

月曜日～金曜日(毎月第3火曜日、祝日、年末年始を除く)

8:30～17:15

10:00～17:00

【療育における支援】



◆小牧市ふれあいの家 あさひ学園 中央6-101 ☎0568-77-0444

あさひ学園は、発達や子育てに支援が必要な乳幼児と保護者への「発達支援」「家族支援」の場です。母子通園の形態で、親子の愛着関係を確かなものにし、子どもへの理解を深めることを目的としています。子どもと保護者で通園し、小集団での生活や遊びを通して子どもの発達を促し、保護者と共に子育ての不安や悩みを考え、サポートしています。

スタッフとしては、保育士・看護師・社会福祉士・介護福祉士等が常時療育や相談を行います。定期的に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士・音楽療法士も支援を行っています。子どもたちがおとなのかかわりや子どもどうしの関係の中で基本的な動作や運動の力を身につけ、人とかかわる力、コミュニケーションの力等をつけていくための療育、そしてそれを保護者と共に確認し、日々の子育てや進路等を考えていくための懇談会や学習会、発達相談等も行っていきます。

☆ 対象：小牧市在住で、育ちに不安がある就学前までの子どもとその保護者

※入園前に事前相談が必要です。(毎日通園が基本ですが、通園日数等相談に応じます。保育園・幼稚園との併行通園もできます。)

※利用料無料

◎あすなろ教室(あさひ学園週1回の教室)

週1回、保護者と通う教室です。子どもの年齢や様子、課題に合わせて通う曜日が決まっています。

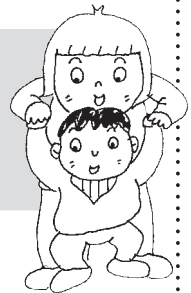
子どもたちが持っている力を遊びや生活の中で引き出し、伸ばしていけるような活動づくりをしています。また、子育ての不安や悩み、進路について等の相談も行っています。

☆ 対象：小牧市在住で育ちに不安がある就学前までの子どもとその保護者

※入園前に事前相談が必要です。

(保育園・幼稚園との併行通園のクラスもあります。)

※利用料無料



◎相談活動

発達や子育てについての相談、医療機関や他機関への紹介、発達検査等を行っています。在園児・卒園児以外に外来相談も受け付けています。(事前予約が必要です。) また、医療機関や保健センター・子育て世代包括支援センター・保育園・幼稚園・児童発達支援事業・放課後等デイサービス・学校等の関係機関及び各種相談機関と連携して支援しています。

ひとことアドバイス

産まれて間もない頃から手がかかる我が子、こだわりが強くどこへ連れて行ってもかんしゃくを起こす。毎日苦しくつらいと涙していました。あさひ学園に毎日行く事で私自身に笑顔が戻り、子どもの成長を喜べる様になりました。子どもは遊びを通して苦手だった事にチャレンジする力も付き、私には何でも相談出来る理解ある先生や仲間が出来ました。

【保育園における支援】

保育課 保育係 ☎0568-76-1130

小牧市の保育園では、集団保育が適切に実施できる範囲内の人数で、全保育園において障がい児の受け入れをしています。対象となる児童は、入園要件を満たし、かつ集団保育が可能な3歳以上の中・軽度の障がい児です。障がい児の受け入れ、障がい児の発達に応じた適切な保育を行うことなどについては、外部委員で構成する障がい児保育検討委員会で決定しています。

小牧市内の保育園一覧

保育園名	住所	電話番号
第二保育園	小牧2-216	☎0568-77-0844
レイモンド小牧保育園	新町3-135	☎0568-77-0514
味岡保育園	小松寺103-1	☎0568-77-0425
三ツ淵保育園	三ツ淵1622	☎0568-77-0913
陶保育園	上末字稲葉台1	☎0568-79-2323
篠岡保育園	篠岡2-30	☎0568-79-8336
大山保育園	応時1-265	☎0568-77-1005
北里保育園	下小針中島2-90	☎0568-76-3337
岩崎保育園	岩崎1533-4	☎0568-76-2880
小木保育園	小木2-350-1	☎0568-77-8536
一色保育園	久保一色南2-8	☎0568-77-8600
三ツ淵北保育園	三ツ淵2130-1	☎0568-72-9330
さくら保育園	桜井40	☎0568-73-5536
山北保育園	安田町98	☎0568-73-5535
本庄保育園	本庄2597-433	☎0568-79-6128
藤島保育園	藤島町梵天110-35	☎0568-75-2320
古雅保育園	古雅3-54	☎0568-79-2477
大城保育園	城山3-2-1	☎0568-78-0797
村中保育園	村中1058	☎0568-42-0053
みなみ保育園	北外山2645-16	☎0568-71-0373
じょうぶし保育園	外堀1-27	☎0568-74-5335

※児童福祉法では、保育所の目的を、第39条の中で「保育所は、保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする施設とする。」と記載されており、保育所に入園できる児童については、『一定要件』が前提となっています。

また平成30年版保育所運営ハンドブックの保育所制度の概説には、「保育を必要とする障害児については、保育所の集団保育が可能な限りできるだけ保育所に受け入れて、健常な児童とともに保育することが、その福祉を図るために望ましい1つの方法である。」とも記載されています。

ひとことアドバイス

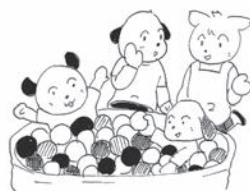
どの保育園でも月2回「園庭開放」をしているので、その時に園の様子を見たり、先生にちょっと相談してみるのもいいかもしれませんね。

ひとことアドバイス

障がいのある子への支援として、保護者等も付き添っての「交流保育」も実施しています。小学校からは特別支援学校というお子さんに、地元のお子さんと一緒に過ごせる時間を作っておきたいとお考えの方は、一度相談してみてもいいかもしれません。

【子育て世代包括支援センター】

子育て世代包括支援センターは、安心安全な妊娠・出産・子育てができるように、子育てに関するさまざまな相談を受け付け、切れ目のない支援を行っています。0～3歳までのお子さんと保護者が利用できる遊び場「すくすくパオールーム（子育て支援室）」や、お子さんを一時的（3時間まで）に預かる「一時預かり室」などを備えています。また、保護者の方のニーズに合わせた子育て支援サービスの紹介や、様々な子育てに関する相談を受け付けていますので、お子さんの発達や日常的な子育てに関する悩みなどがありましたら気軽に相談してください。



【児童センター・児童館における支援】

児童センター・児童館は、遊びを通して子どもたちを心豊かに育てていくことを目的とした施設です。0～18歳までの子どもが自由に利用することができます。たくさんの遊びや季節の行事を用意していますので、ぜひご来館ください。全ての児童館に子育て支援室（0～3歳までのお子さんと保護者の専用スペース）があります。

館名	住所	電話番号
すくすくパオールーム(子育て支援室) (ラピオ3階)	小牧3-555	☎0568-41-3223
児童センター (ラピオ4階)	小牧3-555	☎0568-75-3817
篠岡児童館	池之内3428-2	☎0568-79-0690
北里児童館 (北里市民センター内)	下小針中島2-130	☎0568-71-1183
小牧児童館	新町3-257	☎0568-77-0906
大城児童館 (笑童館 くわらべかん)	城山3-2-4	☎0568-78-0046
小牧南児童館 (南部コミュニティセンター内)	北外山1187	☎0568-77-0454
西部児童館 (西部コミュニティセンター内)	西之島528-1	☎0568-42-0205
味噌児童館	岩崎557-1	☎0568-75-4999

ワンポイントアドバイス

ちょっと先の話ですが…大きくなったら
【児童クラブにおける支援】が受けられる場合があります。

昼間保護者が就労などで家庭にいない児童（小学校1～6年生まで）を対象に、放課後、長期休業、土曜日及び学校代休日に家庭に代わる適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る場所を提供しています。

各小学校に児童クラブがあります。ただし、大城児童クラブは大城児童館内、本庄児童クラブは小学校隣地にあります。

利用される月の前月15日までに必要書類を揃えて申込みが必要です。詳細はこども政策課にご相談ください。

クラブ費は児童1人につき月額5,000円です。（長期休業のみの利用は別料金です）

こども政策課 ☎0568-76-1129(児童クラブに関すること)





【幼稚園・こども園における支援】

保育課 保育係 ☎0568-76-1130

◆第一幼稚園 中央6-101 ☎0568-77-0408

現在支援が必要な園児を3歳児2名、4歳児3名、5歳児3名を受け入れています。各学年に1名の加配職員がつき、ともに育つ環境づくりをしています。

園児の障がいの程度や支援に必要な対応を十分把握できるよう、保護者と職員が十分に話し合う機会を作り、お子さんの保育にあたっています。また、職員は障がい児の理解のため、ケース検討会などの研修会を定期的に行っています。

◆美鳥幼稚園 岩崎1928-1 ☎0568-77-1030

◆美鳥第二幼稚園 小牧原1-43 ☎0568-73-5510

本園の方針を十分に理解していただき、関係機関と検討の上、受け入れをしています。ただし状況により受け入れられない場合もあります。友だちとのかかわりの中で、伸びる力を大切に、動植物とのふれあいを通し、心を育てます。

◆市之久田幼稚園 市之久田1-345 ☎0568-73-3135

現在は若干名の受け入れをしており、必要な場合は加配の先生が補助をします。園と保護者及び専門機関と連携を持って園児の発達に協力しています。

◆名北ゼンヌ幼稚園 林1831-2 ☎0568-79-8132

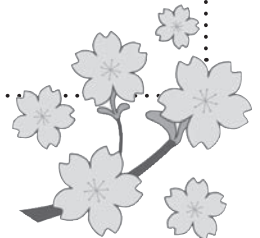
療育手帳がある方は、各学年2名まで受け入れ可能です。

クラスの一員として生活できるように毎日通園とし、家庭との連携を大切にしながらお子さんが達成感を味わえるようにゴールを用意し、成長の手応えを一緒に感じたいと考えています。

また、必要に応じて、補助教員を配置し、個別支援ができるようにしています。

◆太陽幼稚園 大草字丸根5223-1 ☎0568-54-2550

個別に対応しています。入園の可否を含め、ご相談ください。



◆あおぞら幼稚園 桃ヶ丘2-23

☎0568-79-3155

現在特別な支援が必要なお子さんの受け入れをしています。

共に育つ統合保育の中で、仲間との共感関係を基盤として専門機関と連携の上、支援しております。特別な支援が必要な場合は事前にご相談ください。関係諸機関と連絡・検討の上、受け入れの決定をします。ただし、状況に応じ受け入れられない場合もあります。

◆小牧幼稚園 中央2-200

☎0568-76-2736

現在特別な支援が必要なお子さんの受け入れをしています（状況によっては母子通園の場合もあります）。

また、入園前にご相談いただくことで加配の先生が配置できる場合がありますので、事前にお子様の状況をお伝えください。

保護者の方とは随時面談や個別の記録などにより連絡を密にし、必要に応じて各種関係機関と連携して、その子にあった支援ができるように努めています。

なお、入園は先着順に受け付けます。

◆桃花台ひまわり幼稚園 篠岡1-44

☎0568-79-1621

現在支援が必要なお子さんは通園しておりませんが、入園を希望される場合は、あらかじめご相談いただき、入園の可否を検討させていただきます。

◆旭ヶ丘第二こども園 光ヶ丘3-51

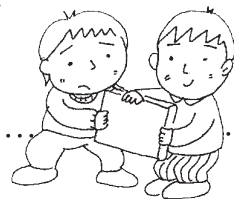
☎0568-78-1620

受け入れについては、ケースごとに検討させていただいております。基本的に加配の対応は行っておりません。入園を希望される場合は事前にご相談ください。

◆とやまこども園 南外山421

☎0568-77-0807

個々のお子さんの必要に応じた支援が出来るよう、教員の配置や関係機関との連携等に努めています。できる限りの準備を整えたいと思いますので、特別支援を希望される場合は事前にご相談ください。



ひとことアドバイス

掲載以外にも、近隣の市町には支援のある幼稚園・こども園がまだまだあります。実際に通園されている方もたくさんおられますよ。一度問い合わせてもらってはいかがでしょうか？

ひとことアドバイス

以前は、障がい重い我が子の相談に行って、母子通園で入園させていただき、親子で本当に貴重な体験をさせていただいた園もありました。一生の宝物になっています。今はわかりませんが、まずは、見学・相談に行ってみましょう。

特別支援教育って？

特別支援教育とは、特別な支援を必要とする全ての子どもたちに、自立や社会参加に向けた主体的なとりくみを支援するという視点に立ち、子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。



●特殊教育から特別支援教育へ

かつての特殊教育は、障がいのある子どものみを対象とし、「盲・聾・特別支援学校」や「特殊学級」「通級指導教育」など特定の場所で行われてきました。

しかし、特別支援教育は、障がいのある子どもたちだけではなく、特殊教育では対象とならなかった通常の学級に在籍する特別な支援が必要な子どもたちを含め、それらの子どもたちが在籍するすべての学校で行われるものです。

そして、「発達障がい」が新たな支援対象となりました。発達障がいのある子どもたちについても、できるだけ早期から適切な支援を受ける事によって状態が改善され、子どもたち自身が将来活躍できるようになることが期待されています。

●盲・聾・養護学校から特別支援学校へ 特殊学級から特別支援学級へ

学校教育法の改正に伴い、盲学校・聾学校・養護学校が障がいの種別に関係なく、特別支援学校に一本化されています。県立の養護学校は校名も特別支援学校となり、複数の障がいに対応した学校の設置が可能になりました。

また、小・中学校などの特殊学級は特別支援学級になっています。

●一人一人に合った、ていねいな支援のために

【個別の教育支援計画】

特別な支援が必要な子どもたちには、一人一人のニーズに応じた支援を効果的に実施することが必要です。そこで、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な計画が必要になります。そのために、教育・保育・医療・福祉・労働などの関係機関との連携に基づいて作成される計画を「個別の支援計画」といいます。その中でも特に教育的な視点で学校が中心となって作成するものが「個別の教育支援計画」です。作成に当たっては各関係機関との連携と共に、保護者の参画や意見を聴くことなどが求められています。

【個別の指導計画】

「個別の教育支援計画」をふまえた上で、特別な支援が必要な子ども一人一人の教育的ニーズに対応して工夫され、学校における指導計画や指導内容・方法を盛り込んだものが「個別の指導計画」です。一般的に単元や学期、学年ごとに作成し、それに基づいた指導が行われます。



ひとことアドバイス

「個別の教育支援計画・指導計画」があると担当が変わるたび、一から説明…なんて事が少なくて済みます。通う学校の支援体制についても文書でいただいと、具体的な支援内容をお尋ねしやすく便利です。まずは特別支援教育コーディネーターの先生に確認してみましょう。成長記録ノートも活用できるとよいですね。

特別支援教育の流れ

幼稚園・小学校・中学校
高等学校などでは…

学校全体での特別支援教育

【通常の学級】

少人数指導やチームティーチングなどによる授業も行います。学び合う学びをたいせつに学級経営をしています。

【通級による指導】

通常の学級に在籍し、授業のほとんどを通常の学級でうけながら、障がいの状態に応じた特別な指導を行います。



交流及び
共同学習

【特別支援学級】

障がいの種別ごとの少人数学級において、一人一人に応じた教育を行います。特別支援教育コーディネーターが、関係機関との連絡・調整を行ったり、保護者からの相談を受けたりします。
※詳しくはお住まいの校区の学校特別支援教育コーディネーターにお尋ねください。



連携



連携

教育・保健・医療・福祉・労働などの関連機関



特別支援学校では…

専門性を活かした特別支援教育

【一人一人に応じた指導】

自立活動の実施や障がいの状態に応じた弾力的な教育課程の編成を行います。

【スタッフの専門性の充実】

それぞれに配慮した環境で、専門性の高い教育による少人数の学級での指導を行います。

【就職・進学などのサポート】

それぞれの障がいの状態などに応じた多様な職業教育や進路指導を行います。

【教育相談・巡回指導など】

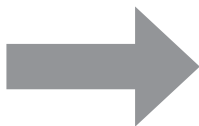
地域の特別支援教育のセンターとして近隣の小・中学校などへの助言・援助をします。

【さまざまな支援体制】

通学費・教材費などの助成、スクールバスの運行、訪問教育などを行います。



交流及び
共同学習



相談



助言・援助
(センター的機能)



学童期・思春期の支援

【小中学校における支援】 学校教育課 ☎0568-76-1165

小牧市では、すべての子どもたちの学びと育ちを保障する教育を推進し、相互の関係性を重視した協同的な学び（学び合う学び）や学びのユニバーサルデザイン化により、だれもが安心して学びやすい環境づくりや条件整備に努めています。

●特別支援教育コーディネーター

小・中学校においては、校長のリーダーシップのもと、特別支援教育コーディネーターが中心となり、学校全体で特別支援教育を進めています。特別支援教育コーディネーターは、各学校における特別支援教育の推進のため、主に教育支援委員会・校内研修の企画・運営、関係諸機関・学校との連絡・調整、保護者からの相談窓口、特別支援学級・通常の学級、通級指導教室との橋渡しなど、特別支援教育にかかわる人々や関係諸機関とをつなぐとても重要な役割を担っています。

●特別支援学級

特別支援学級は、地域の学校において、子どもたちが安心して学び立つ場として、小・中学校に障がいの種別ごとに置かれる少人数の学級（8人を限度）です。本市には、知的障がい、肢体不自由、自閉・情緒障がい・病弱・身体虚弱の学級が、平成30年度で小・中学校25校に67学級設置されています。

特別支援学級においては、何らかの障がい疑われる子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的なとりくみを支援するという視点に立ち、子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、子どもたちの状態にあわせて、特別の教育課程を編成し、保護者と協力して「個別の指導計画」を作成するなどして、その持てる能力や機能を高め、生活や学習上の困り感を改善・克服するため、適切な指導及び必要な支援を行っています。

また、特別の教育課程で、学年のちがう仲間と学ぶ事もあり、障がいの状態などにより、通常の学級との交流及び協同学習を進め、特別支援学級を離れて、交流学級の子どもたちとともに、教科の学習や活動などに参加する子どもたちも多くいます。

●通級指導教室

最近では、通常の学級に在籍している子どもたちの中にも、発達に何らかの障がいがあり、特別の支援が必要な子どもたちがいるという認識が広まってきました。このような子どもたちに対応するために、小牧市では、平成30年度では通級指導教室を言語機能障がい3学級、学習障がい5学級設置し、小学校16校を合計8名が担当し、週に1回程度各校を巡回して指導にあたっています。

通級指導教室においては、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導（「自立活動」および「各教科の補充指導」）を「取り出し指導」により、特別の指導の場（通級指導教室）で行い、教室における仲間との学びや育ちにつなげています。本市では、年間で150名以上の子どもたちが通級指導教室において学んでいます。

また、市教育委員会の特別支援相談員が子どもの様子を見て、よりよい支援方法について、先生方と話し合い、教育活動を行っています。



小牧市内の小学校一覧



学校名	住 所	電話番号
小牧小学校	小牧3-17	☎0568-77-4148
村中小学校	村中1045	☎0568-73-7677
小牧南小学校	若草町82	☎0568-72-2210
三ツ淵小学校	三ツ淵480	☎0568-73-3175
味岡小学校	小松寺5-150	☎0568-77-6271
篠岡小学校	篠岡2-25	☎0568-79-8018
北里小学校	下小針中島2-50	☎0568-77-3194
米野小学校	中央5-339	☎0568-77-3187
一色小学校	久保一色3500	☎0568-77-3191
小木小学校	小木西2-1	☎0568-72-9770
小牧原小学校	小牧原新田1125	☎0568-73-5531
本庄小学校	本庄2597-40	☎0568-79-3567
桃ヶ丘小学校	桃ヶ丘2-3	☎0568-79-3570
陶小学校	上末3450-282	☎0568-79-4824
光ヶ丘小学校	光ヶ丘3-50	☎0568-79-4466
大城小学校	城山3-8	☎0568-79-7666

小牧市内の中学校一覧

学校名	住 所	電話番号
小牧中学校	堀の内4-30	☎0568-77-6321
味岡中学校	小松寺4-81	☎0568-77-8245
篠岡中学校	篠岡2-28	☎0568-79-8027
北里中学校	下小針中島2-170	☎0568-73-3171
応時中学校	応時1-130	☎0568-72-5207
岩崎中学校	岩崎2588	☎0568-75-2081
桃陵中学校	桃ヶ丘2-1	☎0568-79-8987
小牧西中学校	西之島2200	☎0568-75-1451
光ヶ丘中学校	光ヶ丘3-52	☎0568-79-7377



ひとことアドバイス

地域の学校で学ぶということは、本人が地域生活を学ぶ上でとても大きな意味を持っています。自分が住んでいるまちを当たり前のように知ること、たくさんの友だちや先生とふれあうことは、大切な経験です。

ひとことアドバイス

うちの子は特別支援学級に通っていますが、「特別支援教育就学奨励費」というのがあって、学用品費や給食費、修学旅行などに補助金が出る制度なんです。助かってますよ。

【特別支援学校における支援】

名古屋盲学校(視覚障がい)

名古屋市千種区北千種1-8-22

☎052-711-0009

本校は、視覚に障がいのある幼児児童生徒のための特別支援学校です。
(創立：明治34年4月)

幼稚部3歳児から高等部まで幅広い年齢層の幼児児童生徒（高等部専攻科には50歳を超える壮年の方も）が在籍しています。

幼稚部から高等部普通科まで、それぞれ幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育を、高等部保健医療科、専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格を取得する為の教育を実施しています。

通学のために、スクールバスが朝夕の1便それぞれ名古屋市内を運行しています。また、毎日の通学が困難な児童生徒に対しては、寄宿舎があります。

交流及び共同学習に力を注ぎ、小学部と名古屋市立大和小学校との交流や、幼稚部と学校近隣の保育園との交流は充実したものになっています。また、中学部と名古屋市立振甫中学校との学校間交流は昭和30年からの長い取組です。他に、児童生徒の居住地域にある小・中学校との交流にも長年取り組んで、成果をあげています。

また、地域の視覚障がい教育の専門機関として、次のような教育相談を行っています。

- 視覚障がいのある乳幼児の養育方法
 - 就学前の視覚障がい児への就学相談、地域の小学校・中学校・特別支援学校に在籍する視覚障がい児・者の教育相談や学習方法等についての支援
 - 高等部への入学希望者に対する入学相談
 - 視覚障害支援機器や教材・教具などの情報提供や関係機関の紹介
- ※詳しくは、本校のホームページを御覧ください。

一宮聾学校(聴覚障がい)

一宮市大和町刈安賀字上西之杵30

☎0586-45-6000

本校の特色は、「学校充実に向けた取組みが盛ん」「交流及び共同学習が盛ん」「部活動が盛ん」の三点です。

校訓「創造（よく考えよう）」「友愛（助け合おう）」「希望（はばたこう）」のもと、子どもたち本人だけでなく、保護者、地域の方々、そして本校職員が一致団結して取り組んできたことが、この特色を形にしてきました。

幼稚部は、「明るく のびのび 元気な子」を目指して、幼稚園と同じように、遊びを中心とした、総合的な活動を元気いっぱい展開しています。その上で、きこえ、ことば、コミュニケーションを支援しています。

小学部は「生き生きと学び のびのび行動する子」を目指して、個に応じた学習支援、多様な子どもの実態に応じたコミュニケーション支援、互いに育ちあえるような集団の支援に力を入れています。

中学部は、「自分から進んで学習する生徒」「集団の決まりを守り、自ら行動する生徒」「お互いに相手の気持ちを大切にする生徒」を目指して、日々の学習活動や各種コンクールへの取組、部活動への取組など、文武両道に力を入れています。

高等部は、社会自立を念頭におき、基礎学力の充実、各種検定の合格、部活動の各種大会での上位入賞を目指して、個々の能力の伸長を支援しています。積極的に周りの人と関わる力も育てています。

また、地域への支援として、就学前の聴覚障がいのある子どもたちを対象とした、乳幼児教育相談、小・中学校に在籍している聴覚障がいのある子どもたちへの支援として通級指導も行っています。

大府特別支援学校(病弱・虚弱)

大府市森岡町7-427

☎0562-48-5311

校訓 「強く 明るく 健やかに」

〈本校の特色〉

- ・本校は疾患の状態が継続して、医療または生活規制を必要とする病弱・身体虚弱の児童生徒を教育の対象とする学校です。
- ・学校内の児童生徒は、自宅または隣接する「あいち小児保健医療センター」から通学しています。その他の病院に入院している児童生徒には、施設内教育や訪問教育を行います。

〈教育内容〉

本校の教育内容は小学校・中学校及び高等学校に準じた教育内容です。入院する児童生徒の学習の進捗には個人差がありますから、一人一人の実態に応じて、学習を進めるようにしています。



小牧特別支援学校(肢体不自由)

小牧市大字久保一色1129-2

☎0568-73-7661

本校は、肢体不自由者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校です。小学部・中学部・高等部とも、児童生徒の障害や能力に応じて、4つの教育課程を設け、一人一人のニーズに対応できるようにしています。また、各部とも週3日、職員が家庭に訪問して指導を行う訪問教育もあります。

通学区域は小牧市を中心として、近隣の春日井市、犬山市、尾張旭市、岩倉市、名古屋市守山区、扶桑町など10市町です。通学している児童生徒に対して、5台のスクールバス（リフト付き）を運行しています。

校内には2台のエレベーターと1か所にスロープが設置されています。自立活動の指導の一環として、5月中旬から9月下旬には、温水プールでの活動を行っています。また、5月下旬には「小牧勤労センター」を利用して、全校で運動会を行っています。

小学部は、近隣の小牧市立一色小学校と授業交流を行っています。また、たくさんの児童が居住地域の小学校で、居住地校交流を行っています。

中学部は、地域との関わりを大切にしています。小牧市立味岡中学校とゲームを中心とした交流活動を年2回行っています。また、体験的な活動として、地域の企業や工場、スーパーマーケットなどに訪問しています。

高等部では、県立犬山南高等学校とスポーツを中心とした交流学习を年2回行っています。10月には「進路週間」として、長時間作業学習を行う模擬職場体験を校内で実施しています。そのほか、自立や進路に向けて考える機会として「進路講話」「事業所見学」、社会体験として公共交通機関を利用して街に出かける「校外学習」を行っています。

医療的ケアが必要な児童に対して、8名の看護師がたんの吸引、経管栄養、導尿などを行っています。

給食の食形態は、普通食だけでなく、児童生徒の摂食機能に合わせて5種類の調整食（初期食Ⅰ・初期食Ⅱ・中期食・後期食Ⅰ・後期食Ⅱ）とアレルギー対応食を提供しています。

各部とも、年間を通して随時教育相談を行っています。小学部では、9月と10月に体験入学を、また、お子様の成長や発達に不安や悩みをお持ちの方に対する「あゆみ相談」を実施しています。各相談をご希望の方は、事前に電話でご連絡ください。

一宮東特別支援学校(知的障がい)

一宮市丹羽字中山1151-1

☎0586-51-5311

本校は、知的障がいの児童生徒を教育する特別支援学校です。小学部、中学部、高等部の三つの部があり、校訓「あかるく（希望）ゆたかに（愛情）たくましく（自立）」のもと、生徒一人一人の能力や特性に応じた教育の充実に努めています。

小学部では、身辺自立に関する事柄や基礎的な学習課題を中心に自立に向けての力を育むこと、中学部では、興味や関心を広げ、生活に生かせる力を育むこと、高等部では、社会的自立、職業的自立に必要な知識、技能、態度を育むことを目標に、系統的な教育を行い、一人一人の自立と社会参加を目指しています。

通学区域は、尾張北西部の5市2町（一宮市の一部、犬山市、江南市、小牧市の一部、岩倉市、扶桑町、大口町）です。登下校ではスクールバスを利用する児童生徒が多く、現在6コースを運行しています。中学部、高等部には、自転車や公共交通機関を利用して通学する生徒もいます。

児童生徒の相互理解を図り、経験の拡大と社会性を養うことを目的に、近隣の小・中学校、高等学校や居住地の小中学校との交流及び共同学習も活発に行っています。

6月に小・中学部学校説明会、高等部見学会、9月と10月には小・中学部で体験入学を行っています。

また、たんぽぽのようにあたたかい笑顔を目指して、障がいのあるお子さんやその保護者を対象に、不安や悩みについて一緒に考える「たんぽぽ相談」も行っています。



春日台特別支援学校(知的障がい)

春日井市神屋町713-8

☎0568-41-8751

〈学校の特徴〉

本校は、愛知県心身障害者コロニーの中にある知的障がいの幼児児童生徒を対象とした特別支援学校です。本校の教育目標は「子どもたち一人一人の能力・特性に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として生活できる人間を育成すること」です。幼稚部、小学部、中学部、高等部があり、隣接する施設の中央病院と重症心身障害児施設こぼと学園には施設内学級もあります。知的障がいのある幼児が対象の幼稚部（年中、年長児対象）は、愛知県内で本校だけです。

本校の通学区域は春日井市・小牧市・尾張旭市・瀬戸市の4市で、登下校では7台のスクールバスが運行し、小学部・中学部・高等部の児童生徒が利用しています。また、中学部・高等部の一部の生徒には公共交通機関を利用している生徒もいて、名鉄バスで「愛知県コロニー」のバス停を利用し、登下校しています。平成31年度から瀬戸つばき特別支援学校が開放され、本校の通学区域は春日井市(南部を除く)と小牧市となる予定です。

〈相談〉

お子様の養育や就学についての教育相談は随時行っています。また、センター校として地域の保護者の方や園・学校関係者の不安や悩みについて相談を行う「あゆみ相談」も実施しています。（どちらも事前に電話等で予約が必要）

本校の教育活動を見ていただくために、毎年、6月に学校見学会、9月には小・中学部の体験入学も行っています。

くわしくは、本校ホームページをご覧ください。

ひとことアドバイス

「特別支援学校」というと、はじめは親として抵抗がありましたが、通い出してみると、わが子が本当に毎日イキイキとしているので、一人ひとりに合った教育をしてくれる学校なんだと改めて気付かされました。子どもの成長にビックリです。

学校を卒業してからの支援

【各相談機関や訓練校での支援】

ハローワーク春日井(公共職業安定所) 春日井市大手町2-135 ☎0568-81-5135

一般求人の窓口とあわせて、支援が必要な方の求職相談を担当する職員がいます。また他の地区の職業安定所でも求人情報は閲覧できます。コンピューターのタッチパネルで検索、閲覧できるようになっています。

また、障がい者を雇用する際に利用できる補助制度の窓口になっています。

尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ

春日井市坂下町4-295-1 ☎0568-88-5115

雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携の拠点となって、就業支援及び就業に伴う生活支援、生活に関する指導・助言などを行います。主な事業内容は下記のとおりです。

- ・障がい者本人や家族からの相談に応じ、就業や就業に伴う日常生活上の問題についての指導や助言
- ・職業準備訓練や職場実習をあっせん
- ・就職後の相談支援や事業主への助言

愛知県立名古屋高等技術専門校・総合実務科

名古屋市北区安井2-4-48 ☎052-917-6711

知的障がいのある方を対象とした職業訓練を行っており、訓練を通じてコミュニケーション能力や集中力、労働習慣や職業規律などの社会的技能を身につけ、就職を目指します。訓練期間は1年間です。

愛知障害者職業センター

名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階 ☎052-218-2380

障がいのある方の就職に関する相談や援助を行うとともに、障がい者を雇用する企業に対して、働きやすい環境づくりや障がい特性を理解した指導方法を助言・援助する機関です。働くためにはどんな準備が必要か、就職したけれど職場になじめずに困っているといったことなどについて相談できます。(発達障がい、難病、高次脳機能障がいの方も相談できます)

- ・就職に向けた支援
- ・働き続けるための支援
- ・休職中の方が職場に戻るための支援

【福祉施設等での支援】

P.18で紹介した福祉サービスのほかに、18歳になると利用できる福祉サービスがあります。主に就労や日中に過ごす場所でサービスを提供する「日中活動系サービス」と、施設入所など住まいの場を提供する「居住系サービス」の2種類に分けられます。

※詳しくは福祉サービス事業所一覧をご覧ください。

ワンポイントアドバイス

それぞれのサービスには利用料がかかります。利用には事前に手続きが必要です。



○日中活動系サービス

サービス名	内 容
生活介護	施設で日中活動の支援（作業やレクリエーション）や身体的な介助（入浴、トイレ、食事の手伝い）を受けることができます。
就労移行支援	会社に就職するための訓練を受けることができます。仕事探しの相談にも乗ってくれます。
就労継続支援 (A型・B型)	会社以外の場所（福祉施設）で、支援を受けながら働くことができます。
自立訓練 (機能訓練)	身体に障がいのある人が、機能の回復のための訓練を受けることができます。
自立訓練 (生活訓練)	障がいのある人が、地域での生活で困らないように、自分で身の回りのことをする訓練を受けることができます。
地域活動支援 センター	障がいのある人に、日中活動の支援をします。生活上の相談、余暇活動や生産活動などを提供します。



○居住系サービス

サービス名	内 容
共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介助、相談等の援助を行います。
施設入所支援	日常生活の手伝いを受けながら、施設で暮らすことができます。



○問い合わせ先：小牧市役所 障がい福祉課

どこの病院に行ったらいい?

安心してもらえらる病院ってなかなか見つからないこともありますよね。
このページでは、先輩ママたちが見つけた病院や訓練機関などを紹介します☆
(全てを網羅している訳ではありません。ご了承ください。)



※五十音順

公的な医療機関

	主な対象診療科	備考
愛知県青い鳥医療療育センター http://www.aoitori-center.com/ 名古屋市西区中田井5-89 ☎052-501-4079	・リハビリテーション科 ・整形外科 ・小児科 ・耳鼻咽喉科 ・児童精神科 ・皮膚科 ・泌尿器科 ・眼科 ・小児外科 ・歯科	障がい児・者を対象とした福祉（障害児入所施設・療養介護事業、児童発達支援センター）と医療の複合施設です。外来は全科紹介予約制です。児童精神科・発達外来は地域・年齢制限があり、小牧市は対象外になります。リハビリテーション（PT・OT・ST）をご希望の方も、まずは診察の予約をお取りください。
愛知県医療療育総合センター中央病院 (旧愛知県心身障害者コロニー中央病院) 春日井市神屋町713-8 ☎0568-88-0811	・内科・循環器内科・小児循環器内科・神経内科・小児神経内科・外科・脳神経外科・小児外科・整形外科・精神科・児童精神科・心療精神科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・臨床検査科・麻酔科・歯科及び小児歯科	医療療育総合センター中央病院は障がい児・者の医療を担う病院です。外来は予約制で、初診時は紹介状が必要です。精神科は地域・年齢制限がありますので電話にて確認ください。レスパイト目的の短期入所も受け付けています。
愛知県精神医療センター http://www.pref.aichi.jp/seishinirvo-center 名古屋市千種区徳川山町4-1-7 ☎052-763-1511	・児童部門（予約制）	発達に明らかな遅れのない、小学生から15歳まで、本人が受診できる方。初診は火・木曜日。 予約電話：052-763-1511（代表） 電話受付：火・木曜日10：00～16：00
	・成人発達部門（予約制）	発達障害の診断を希望の成人の方。ご家族のみの相談はできません。 予約専用電話：052-763-2060 電話受付：HP参照（不定）12：15～数に達した時点で受付終了、翌月へ
あいち小児保健医療総合センター http://www.achmc.pref.aichi.jp/ 大府市森岡町尾坂田1-2 ☎0562-43-0500	・神経科 ・心療科	発達外来は6ヶ月、それ以外の外来は2ヶ月までの待機とし、それを超えて申込みがあった場合には他の医療機関を紹介しています。
春日井市民病院 http://www.hospital.kasugai.aichi.jp/ 春日井市鷹来町1-1-1 ☎0568-57-0057	・小児科	ご来院いただく際は、健康保険証、各種医療受給者証、紹介状（お持ちの場合）をご持参の上、総合受付までお越しください。また、紹介状をお持ちの場合は、事前に診察の予約ができますので、ご希望であれば当院予約センター（診療日の午前9時から午後3時まで、電話0568-57-0048）までご連絡ください。
小牧市民病院 http://www.komakihp.gr.jp/ 小牧市常普請1-20 ☎0568-76-4131	・内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科・外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児科・産婦人科・整形外科・リウマチ科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・精神科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科口腔外科	受診の際は保険証・かかりつけ医の紹介状を持参の上、1階紹介受付へお越しください。生活上のご相談は当院医療ソーシャルワーカーが承ります。1階医療福祉相談までお越しください。 ※詳しくはホームページをご覧ください。

ひとことアドバイス

うちの子、診察室に入れなかったり、大暴れしたりすることもあるし…。
コロニーは障がいがある子どもの専門病院なので、それぞれに合った対応をしてくれてありがたいです。

公的な医療機関

※五十音順

	主な対象診療科	備考
<p>公立陶生病院</p> <p>http://www.tosei.or.jp/ 瀬戸市西追分町160 ☎0561-82-5101</p>	<p>・小児科</p>	<p>近隣にお住まいのお子さんの相談・支援を行っています。</p>
<p>名古屋第二赤十字病院</p> <p>http://www.nagoya2.jrc.or.jp/ 名古屋市昭和区妙見町2-9 ☎052-832-1121</p>	<p>・小児科・神経内科・整形外科・形成外科・脳神経外科・歯科 口腔外科・眼科・皮膚科・放射線科・リハビリテーション科・内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻いんこう科・歯科・麻酔科・病理診断科・薬物療法内科・救急科・精神科</p>	<p>当院は、救命救急センター・総合周産期母子医療センター・地域医療支援病院等の指定を受けた専門医療・救命医療を中心とした病院です。当院を受診される際は、まずはかかりつけの医師とご相談の上、紹介状をお持ちになってください。</p>
<p>NHO 東名古屋病院</p> <p>http://www.hosp.go.jp/~tomei/ 名古屋市名東区梅森坂5-101 ☎052-801-1151</p>	<p>・小児科</p>	<p>・重症心身障害児・者の短期入所を行っています。事前に利用契約が必要です。 ・発達障がいに対応しています。完全予約制です。</p>

大学病院

※五十音順

	主な対象診療科	備考
<p>愛知医科大学病院</p> <p>http://www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/ 長久手市岩作雁又1-1 ☎0561-62-3311</p>	<p>消化管内科、肝胆膵内科、循環器内科、呼吸器・アレルギー内科、内分泌・代謝内科、神経内科、腎臓・リウマチ膠原病内科、血液内科、糖尿病内科、精神神経科、小児科、消化器外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、腎移植外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、眼形成・眼窩・涙道外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、総合診療科、形成外科、救命救急科、リハビリテーション科、睡眠科、感染症科、病理診断科、歯科口腔外科、高度救命救急センター、救急診療部、総合腎臓病センター、睡眠医療センター、痛みセンター、内視鏡センター、周産期母子医療センター、脳卒中センター、臨床腫瘍センター、緩和ケアセンター、糖尿病センター、こころのケアセンター、脊椎脊髄センター、プライマリケアセンター、先制・統合医療包括センター、人工関節センター、スポーツ医学センター、てんかんセンター、脳血管内治療センター、造血細胞移植センター</p>	<p>受診を希望される場合は、かかりつけ医から当院地域医療連携室へご連絡をいただき、受診予約をお受け取りください。 受診日予約当日は、かかりつけ医の診療情報提供書をご持参ください。</p>

ひとことアドバイス

病院によっては、年齢制限や対象地域が限定されている場合もあるみたい。予約制のところも多いし。事前の電話確認は絶対必要! あと、先輩ママからの口コミ情報も病院を決めるのに参考になります。

大学病院

※五十音順

	主な対象診療科	備考
<p>愛知学院大学歯学部附属病院</p> <p>http://hospital.dent.aichi-gakuin.ac.jp/ 名古屋市中種区末盛通り2-11 ☎052-759-2111</p>	<p>・歯科・小児歯科・矯正歯科 ・歯科口腔外科・麻酔科 ・障害者歯科 ・言語治療外来 他 (・内科・外科・小児科・耳鼻咽喉科)</p>	<p>診療科によって、診療時間が異なる場合がございますので、あらかじめホームページ等でご確認ください。その他の病院情報についてもホームページ等でご確認ください。</p>
<p>名古屋市立大学病院</p> <p>http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/</p> <p>名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野 http://ncu-ped.com/</p> <p>名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 ☎052-851-5511</p>	<p>・小児科</p>	<p>受診予約を希望される場合は、かかりつけ医から当院地域医療連携センターへご連絡下さい。受診日当日は、かかりつけ医の診療情報提供書をご持参下さい。</p>
<p>名古屋大学医学部附属病院</p> <p>https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/ 名古屋市昭和区鶴舞町65 ☎052-741-2111</p>	<p>・小児科</p>	<p>本院での外来診療は、原則予約制となっております。予約は、かかりつけの医療機関から本院に「名古屋大学医学部附属病院診療申込書」をFAXしてもらうことにより初診予約を取ることができます。患者さん個人からのお申し込みでは、初診予約はお取りできませんのでご了承下さい。詳しくはかかりつけの医療機関にご相談下さい。</p>

その他の医療機関(小児科)

※五十音順

	主な対象診療科	備考
<p>小木こどもファミリークリニック</p> <p>http://www.kokikodomo.jp/ 小牧市小木南2-32 ☎0568-54-2111</p>	<p>・小児科 ・発達外来(検査含む)</p>	<p>発達外来は予約制です。</p>
<p>志水こどもクリニック</p> <p>http://www.myclinic.ne.jp/simizu_cl/pc/ 小牧市小牧3-152 ☎0568-76-2043</p>	<p>・小児科</p>	<p>必要に応じて愛知県コロニー、あいち小児保健医療総合センターなどに紹介状を書いていただけます。</p>
<p>しんばらこどもクリニック</p> <p>小牧市小牧原新田1828-1 ☎0568-74-4150</p>	<p>・小児科</p>	<p>あさひ学園の囑託医の先生です。発達相談が受けられます。(小学生まで。要予約)</p>
<p>つくしこどもクリニック</p> <p>「つくしこどもクリニック」で検索 丹羽郡大口町余野5-292 ☎0587-95-0600</p>	<p>・小児科</p>	<p>発達相談が受けられます。療育施設を併設。</p>

その他の医療機関〈小児科〉

※五十音順

	主な対象診療科	備考
森川クリニック http://www.drmorikawa.com/ 名古屋市中区新栄町1-3 日丸名古屋ビル8F ☎052-961-1709	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科 ・小児神経科 	てんかん専門診療（赤ちゃんから大人まで）です。完全予約制です。

その他の医療機関〈歯科〉

※五十音順

	主な対象診療科	備考
愛知歯科医療センター http://www.aichi8020.net 名古屋市中区丸の内3-5-18 愛知県歯科医師会館1階 あいち口腔保健センター内 ☎052-962-9102	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科 	【障がい者歯科診療】 木曜日・土曜日 受付時間：午後2時～3時40分 ※予約制
おちあい小児歯科 小牧市新町3-239 ☎0568-75-4618	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科 	小さいお子様を専門に治療しております。小さいうちから予防処置などをして歯医者に慣れていただきたいと思っています。
塚原歯科 http://www.tukahara-shika.com/ 小牧市中央2-201-1 ☎0568-73-5515	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科 	あさひ学園・デイサービスひかりの嘱託医の先生です。車いすでも大丈夫です。
ややもり歯科医院 多治見市太平町2-21 ☎0572-21-2001	<ul style="list-style-type: none"> ・一般歯科 ・矯正歯科 ・小児歯科 	思いやりのある診療をモットーに、子どもの歯並び矯正から一般治療、車イスの方まで治療しています。
堀井歯科医院 小牧市曙町47 ☎0568-73-1234	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科 	診療室はバリアフリーのため、車イスのまま入っていただけます。訪問診療もいたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

その他の医療機関〈心療内科等（発達障がいに関すること）〉

※五十音順

	主な対象診療科	備考
石井クリニック http://www.ishii-clinic2010.jp/ 名古屋市中区今池5-2-3 共栄ビル2F ☎052-732-3151	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科 ・児童精神科 	発達障がいに対応しています。完全予約制です。
大高クリニック 名古屋市中区南区綱取通4-1 第1田口ビル2F ☎052-825-0033	<ul style="list-style-type: none"> ・心療内科 ・精神科 ・児童精神科 	主に児童期以後の発達相談が受けられます。完全予約制です。

ひとことアドバイス

保健センターで月曜日に行われている「歯の健康相談」にて口腔ケアや訪問歯科診療について相談を受けています。保健センターへの来所が難しい場合は、お電話での相談も受付けていますのでご利用ください。

その他の医療機関〈心療内科等（発達障がいに関すること）〉

※五十音順

	主な対象診療科	備考
小牧メンタルクリニック 小牧市中央2-54 ☎0568-76-7700	・心療内科 ・精神科	保護者のメンタルケアをしていただけます。
すどうストレスケアクリニック http://www.sudo-stresscare.com 小牧市中央1-349 ☎0568-75-0222	・精神科 ・心療内科	保護者の方へのアドバイスに力をいれています。
つくしこころクリニック http://kkk.tsukushinet.jp/ 丹羽郡大口町竹田2-21-2 ☎0587-94-0800	・発達外来	愛知県では数少ない発達外来専門の児童精神科医が診療しています。療育施設も併設しています。
ファミリーメンタルクリニック http://famimen.com/ 名古屋市天白区原1-210 原コーネルビル1F ☎052-803-1515	・心療内科 ・児童精神科	発達障がいに対応しています。完全予約制です。

その他の医療機関〈眼科〉

※五十音順

	主な対象診療科	備考
からき眼科クリニック http://karaki-eye-clinic.a.laq.jp 春日井市大留町2-17-5 ☎0568-53-0777	・眼科	元愛知県コロニー眼科の先生です。重症心身障がい児の無料眼科相談もしていただけます。車いすでも大丈夫です。

訓練機関・療育機関・相談機関など

民間の訓練機関・療育機関・相談機関は、医療保険が適用のところや、福祉サービスとして利用できるところも、自費のところもあるので、まずは電話でお問い合わせを…。

※五十音順

	主な内容	備考
愛知県医療療育総合センター 親子療育の家 http://www.pref.aichi.jp/hsc/ryoiku/sub.9.html 春日井市神屋町713-8 ☎0568-88-0811(内線2218)	・施設入所事業による親子支援 ・個別療育(子どもさん) ・グループ学習(保護者)	発達に心配のある就学前および小学生のお子さんと保護者の方を対象に短期間の宿泊を通し子どもさんの発達段階に応じた課題に対し一緒に考え支援を行います。
愛知県総合教育センター http://www.pref.aichi.jp/0000007526.html 愛知郡東郷町大字諸輪上字鉾68 ☎0561-38-9517	・特別支援教育相談 (家庭での療育 就園、就学 園、学校での支援・指導)	来所相談(予約制) 電話相談(随時) ※受付は月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時まで
あいち発達障害者支援センター (愛知県医療療育総合センター内) 春日井市神屋町713-8 ☎0568-88-0849(電話相談)	・発達障がいに関する相談	来所相談(予約制:0568-88-0811(内線2222))のほか、電話・メール・FAXでの相談も可能です。詳細はホームページをご覧ください。

ひとことアドバイス

「家で療育?何をしたらいいの?」そんな時は、先生に相談するとアドバイスをしてくださるので助かっています。

	主な対象診療科	備考
<p>一宮医療療育センター</p> <p>http://www.anzu.or.jp/shafuku/ 一宮市富田字流筋1679-2 ☎0586-62-0002</p>	<p>・個別訓練（理学療法 作業療法 言語聴覚療法）</p>	<p>何らかの要因にて発達に心配（遅れ）のある方を対象としています。詳細はホームページをご覧ください。</p>
<p>一宮聾学校</p> <p>http://www.ichinomiya-sd.aichi-c.ed.jp/ 一宮市大和町刈安賀字上西之萩30 ☎0586-45-6000</p>	<p>・きこえとことばの教育相談 ・通級指導</p>	<p>原則、聴覚障がいの方が対象です。</p>
<p>音楽療法室ブレーメン</p> <p>名古屋市北区元志賀町1-45 ☎052-916-1440</p>	<p>・音楽療法</p>	<p>個人セッション 発達や障害の特性にあわせた療法を行ないます。 入会に際して、曜日や時間によっては対応できない場合もあります。</p>
<p>日本福祉大学中央福祉専門学校内 ことばと聴こえの支援室さくら</p> <p>http://www.n-fukushi.ac.jp/chuo/gengo/sakura/ 名古屋市中区千代田3-27-11 ☎052-339-0200</p>	<p>・言語訓練</p>	<p>医療保険適用外です。 専門医の紹介状をお持ちください。</p>
<p>ことばの相談室ホワイトベル 名古屋市長東区高社1-107 西一社ハイツ114 ☎052-760-5153</p> <p>ことばの相談室ホワイトベル大口分室 丹羽郡大口町余野2-21 ☎0587-95-7744</p> <p>http://www.mms-net.com/WhiteBell/</p>	<p>・ことばを含めた全体の発達促進（個別・集団） ・お母さんの相談</p>	<p>年齢は問いません。就学後のお子さん、成人の方も可能です。 受付時間は9：30～16：30です。 休室日は祝日と年末年始で、不定期な日もあります。 まずはお電話ください。</p>
<p>子どものためのあいちAAC研究所 (ことばの相談室ぽっぷ)</p> <p>http://www.aichi-aac-center.jp 春日井市弥生町2-105-1 ☎0568-85-4020</p>	<p>・言語訓練 ・発達相談</p>	<p>障がい特性や発達段階にあわせたマンツーマン指導をおこないます。又発達や障がいについての相談、学習あるいは育児等についての相談も受け付けます。</p>
<p>株式会社ジェネラス 訪問看護ステーション ほたるきた</p> <p>名古屋市北区丸新町35 ラ・ブリエ201号 ☎052-909-7036</p>	<p>・訪問理学療法・訪問作業療法 ・訪問看護</p>	<p>まずはお問い合わせください。 必要な書類、手続きを説明します。</p>



発達・発達

公的な支援

ライフステージ別の支援

医療・訓練機関

おすすめ情報

親の手記

	主な対象診療科	備考
<p>ダンススクールJOY☆UP</p> <p>春日井市貴船町89 D-high Dance Studio内 ☎090-6092-0877 ohana.music-therapy@softbank.ne.jp</p>	<p>・身体運動 ・ダンスレッスン</p>	<p>毎月第2・4土曜日13:00からと、14:00からの2クラスで行っています。ダンスのレベルに関しては、後回しに考え、まずは安心して楽しめる場としての環境づくりから始めます。興味のある方は一度お問い合わせを。</p>
<p>TEAM GLITTER</p> <p>http://Team-glitter.plimo.jp/ 名古屋市名東区陸前町3308-2 グレース伸和1階 ☎052-753-6435</p>	<p>・小児障がい訪問マッサージ</p>	<p>小児脳性麻痺や筋ジストロフィー、筋萎縮、てんかんなど、名古屋で初めて小児障がい児専門の訪問マッサージ・鍼灸を行うチームグリッターです。医師や医療従事者、先輩ママ達がメンバーです。</p>
<p>「水に親しもうT・O・D」</p> <p>春日井市大手町3-16-11 ☎0568-28-6412</p>	<p>・スイミング</p>	<p>障がい児・者を対象としたスポーツ活動支援事業です。</p>
<p>ようてい中央クリニック 岩倉市曾野町郷前17 ☎0587-66-5133</p> <p>ようていファミリークリニック 北名古屋市熊之庄宮地97 ☎0568-80-7124</p> <p>http://youteikai.com/gengo</p>	<p>・こども言語療法室</p>	<p>小児を専門としている言語聴覚士。3歳前から就学前までのお子さんの言葉の遅れ、コミュニケーションの難しさ、発音などのご心配に対応しています。</p>



本人・親・支援者の会



困ったときは、お互い様。みんなで助け合いましょう。先輩ママたちが見つけた小牧市内や近隣にある本人や保護者はじめ支援者を応援する団体を紹介します。

団体名	活動内容	連絡先
小牧市 身体障害者福祉協会	身体障がい者が自ら進んで、その障がいを克服し、障がい者相互の親睦を深めると共に生活の安定に寄与するため組織活動により福祉の向上を図ることを目的とする団体です。	会長 谷 幸男 ☎090-3480-5855 ✉sunday.b.tani.888@docomo.ne.jp
小牧市 肢体不自由児（者） 父母の会	小牧市在住のおもに身体に障がいのある児・者とその父母からなりたっている会です。障がいのある本人たちだけでなく、父母も一緒に学んだり、レクリエーション活動を通して交流を行っています。	会長 上田 幸恵 ☎0568-71-0162
小牧市 聴覚障害者福祉協会	小牧市内の耳の聞こえない方々の集まりです。小牧市・社協の協力を得て手話講座を開いています。その他聞こえない人たちのためにいろいろな情報提供を行っています。	会長 河合 庸平 ☎☎0568-76-2118
小牧市 地域精神障害者 家族会 「アザレア会」	心の病（統合失調症）を持つ人の家族の会です。家族がお互いに交流を深め、不安な気持ちや思いを気兼ねなく語り合い、ともに学びながら家族と当事者を支える活動をしています。	本庄プラザ ☎0568-47-0841
小牧市 難聴・中途失聴者協会	耳が不自由でも安心して暮らせる社会を目指して、同じ悩みを持った仲間が集まり、情報交換をしたり、県、市町村関係団体等へ働きかけたり、親睦交流や学習会を開いたりしています。	会長 古木 茂代 ☎☎0568-73-9433
小牧市 手をつなぐ育成会	時代、制度が著しく変化して本人は利用できる支援が多くなっています。親（保護者）は、社会から孤立しないで楽しく座談できる場にしませんか！	会長 石原 多加子 ☎0568-78-1038
小牧市 おもちゃ図書館 きらら	障がいのある子どもがおもちゃを通して遊びや活動を広げていけるように、おもちゃの貸出し及び、親子でおもちゃで遊べる場を提供。年に4回程度、遊びの企画「おもちゃであそぼうDAY」も開催。	障害者デイサービス施設ひかり内 ☎0568-71-1003
小牧特別支援教育 先生と親の会	年に2回ずつ、石川道子先生（武庫川女子大教授）をお迎えして、発達障がいの勉強会を開催しています。お気軽にご参加ください。	世話人 山本 鋼志 ☎0568-75-3775 ✉hamchans@na.commufa.jp
ポプラの会	小牧市ふれあいの家あさひ学園に通う子どもの保護者の会。（現役及びOB）勉強会、会員同士の情報交換や親睦を深める企画もあります。	あさひ学園 ☎0568-77-0444
全障研小牧サークル かざぐるま	障がいのある人や家族、福祉・教育関係者等が集まり、その時々困っていることの相談や学習、レク企画、研修企画を行っています。	すずかけ共同作業所さらん内 ☎0568-71-3644

団体名	活動内容	連絡先
発達支援の会 えがお	障害や発達に不安や心配のあるお子様の支援の活動をしています。子ども達は多くの経験の場、ご家族にはみんなのそばに居るよ！！と繋がり作りや情報交換の場。そして、住みやすい地域を目指し障害の理解、支援者を増やしていきたいと活動しています。参加をお待ちしています。支援者の方の参加もお待ちしています。	中村 ひとみ ☎090-8325-8621 ✉egaohitomi@icloud.com
友優（ゆうゆう）の会 小牧スイミングクラブ	地域の人たちと困難を抱えた人々が、連携して共生していける豊かな社会を目指しています。チャレンジドと健康な子どもとのふれあいを大切にしたさまざまな行事を行ったり、子どもたちの仕事場やグループホーム作りへの取り組み、また学習会や講演会、毎週スイミングやダンスも開催しています。	代表 南 三郎 事務局 稲垣 ヒロ子 ☎0568-77-2880 (TEL・FAX) 小牧市堀の内3-201
アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ	小牧市で活動する、アレルギーの子を持つ親の会。主に小牧市子育て世代包括支援センターで活動。年に数回、アレルギーに関する講座や講習会を行い、正しい知識の啓蒙に努めています。	http://xmasrosekomaki2015.blog.fc2.com/
小牧おひさまクラブ	小牧を中心に「つながりあそび・うた」を楽しんだり広めたりしているグループです。特別支援学校、支援学級、聾学校の有志の職員が実行委員となり、その趣旨に賛同し協力してくださる協力会員さん、一緒につながりあそび・うたを楽しむ親子の仲間と合わせて、おひさまクラブのメンバーとしています。	代表 大塚 淑子 ☎0568-57-3005 ✉toshitoshi@pf6.so-net.ne.jp 犬山市長者町6-111
パパママサポート あおぞら	発達障がい及びグレーゾーンのお子さんを持つ保護者の方の悩みに共感し、寄り添い、また情報交換の場としての交流会を開催し、保護者の方の孤立化や虐待を防ぐ活動をしています。講師による勉強会や講演会を企画し、開催しています。また、「小牧あおぞらキャラバン隊」として、発達障がいの疑似体験などをとおして、障がいへの理解を深めてもらう活動を行っています。	代表 平 有夏 ☎090-2687-0469 ✉nikoniko-ufufu1855@docomo.ne.jp
ここぱりこまき	障がいがある人もない人も、誰もが幸せで、安心して自分らしい豊かな暮らしを実現できるまちを創ろうと、こころのバリアフリーをすすめる活動をしている市民団体です。講演会や講座、コンサートなどを開催しています。	http://kokobari-komaki.net
楽育相談	日ごろの育児に不安や疑問を持っておられる親御さん。発達に不安を抱えていること等を気軽に話していただけるのが「楽育相談」です。悩める気持ちを一緒に共有し先輩ママの経験からアドバイスをしています。「育児は大変だけど楽しい事も沢山あるよね」と一人でも多くのママたちが元気になるように相談員2名で活動をしています。予約は不要なのでいつでも気軽にお越しください。	小牧市保健センター ☎0568-75-6471
小牧市市民活動団体 しきの会	しきの会は「障がいも健常も、こどもも大人もみ～んな一緒に！」をモットーに小牧市を中心にバリアフリーで集える「休みの国」というイベントを開催しています。参加者も演奏しちゃうコンサートやこども料理教室、福祉の講演会や上映会。席もグループも自由でごちゃ混ぜだから、発見がある。その芽吹きを大切にしたい。ごう願ひ、いつしか心に成長する思いやりの種まきを、せっかくなら楽しく！と続けています。「しきの会」でイベント予定、活動内容見ていただけます！	代表 関 靖子 ☎090-8188-6549 ✉wjwt1978.jp@gmail.com

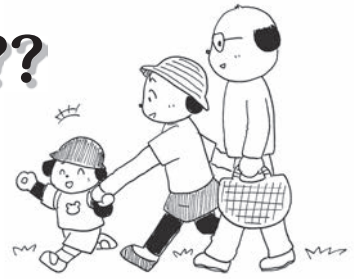
代表者・連絡先は年度ごとに変更になる団体もあります。

ひとことアドバイス

親の会などの先輩ママさんの話って、本当に貴重な情報源です。制度のこと、学校のこと、病院のことなど、困ったときに頼りにしてます。裏ワザ的なことも聞けちゃいますしね。

おすすめお出かけスポットは??

ここでは、先輩パパママが見つけた障害者手帳を提示することで
利用料などが割引になる施設や、バリアフリーの施設など、
家族みんなで安心して楽しめるお出かけスポットを紹介します。



小牧市内

小牧市温水プール	小牧市大字野口2394-3	☎0568-78-0102
南スポーツセンター プール	小牧市郷中2-201	☎0568-72-6200
パークアリーナ小牧トレーニングジム 又はフィットネススタジオ	小牧市間々原新田737	☎0568-77-7712
まなび創造館スポーツセンター (ラピオ5階) トレーニングジム又は フィットネススタジオ	小牧市小牧3-555	☎0568-71-9848
メナード美術館	小牧市小牧5-250	☎0568-75-5787
プラネタリウム	小牧市小牧5-253	☎0568-75-1861
市民四季の森	小牧市大草5786-1	☎0568-78-4554

詳細は各施設にお問い合わせ下さい



ひとことアドバイス

プールによっては、車イス用の入口があるところや、着替えを別室に用意してくれるところもあるので、問い合わせしてから出かけられることをオススメします。

ひとことアドバイス

車いすで出掛けるのは段差等で大変。「おもてなし愛知 観光バリアフリー情報ポータルサイト」ではジャンル別・地域別に分けてあり、写真やピクトグラムを利用した解説でわかりやすく「行けるかも」と思えました。

近場のスポット

名古屋港水族館	名古屋市港区港町1-3	☎052-654-7080
東山動植物園	名古屋市千種区東山元町3-70	☎052-782-2111
でんきの科学館	名古屋市中区栄2-2-5	☎052-201-1026
名古屋市科学館	名古屋市中区栄2-17-1 白川公園内	☎052-201-4486

ひとことアドバイス

小学5年生ですが、オムツをしているし、トイレの便座にも座れないので、オムツ替えのベッドが必要です。「多目的トイレ」とうたってあっても赤ちゃん用ベッドまでしかないことが多いので、出掛ける前に必ず電話で問い合わせるようにしています。

ひとことアドバイス

本人だけでなく、付き添いまで割引があるのは大きいですね。お気に入りのレジャー施設には、つい何度も足を運んでしまいます。

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）	長久手市茨ヶ廻間乙1533-1	☎0561-64-1130
あいち健康の森公園	大府市森岡町源吾1	☎0562-47-9222

県外のスポット

かかみがはら航空宇宙科学博物館	各務原市下切町5-1	☎058-386-8500
ぎふ清流里山公園	美濃加茂市山之上町2292-1	☎0574-23-0066
花フェスタ記念公園	可児市瀬田1584-1	☎0574-63-7373
川島町河川環境楽園（オアシスパーク）	各務原市川島笠田町1564-1	☎0586-89-6766

WAM NET（ワムネット）独立行政法人福祉医療機構が運営している、福祉・保健・医療の総合情報提供サイトです。
<http://www.wam.go.jp/> 障害福祉サービス事業者の検索など、たくさんの情報が掲載されています。

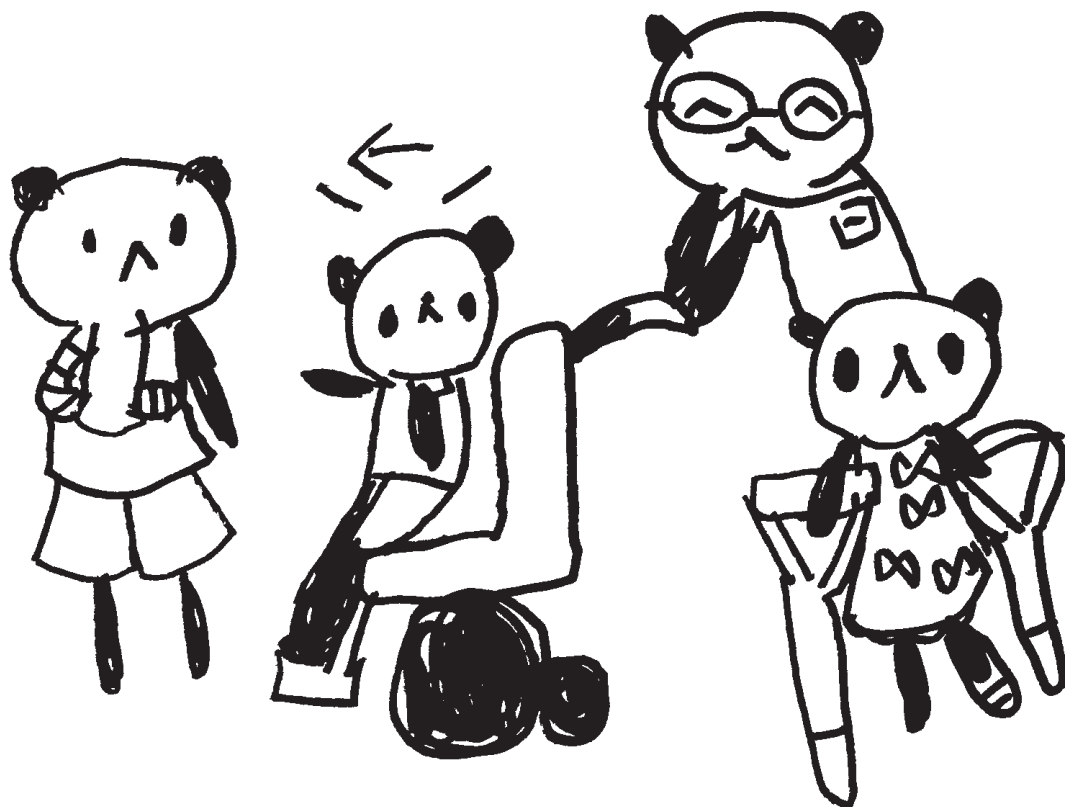


先輩お母さん・お父さんのオススメの本は？

入門書

1.2.3歳 ことばの遅い子 ことばを育てる暮らしのヒント	中川信子著 ぶどう社 1999.6 「子どものことばが遅い」と心配されているおかあさんに「どういう育て方をすればこの子の持っている良さを一番伸ばしてあげられるか」という視点で書かれています。
新しい発達と障害を考える本 1～8	内山登紀夫 監修 ミネルヴァ書房 2013.3～2014.2 1. もっと知りたい！ 自閉症のおともだち 2. もっと知りたい！ アスペルガー症候群のおともだち 3. もっと知りたい！ LD（学習障害）のおともだち 4. もっと知りたい！ ADHD（注意欠陥多動性障害）のおともだち 5. なにがちがうの？ 自閉症の子の見え方・感じ方 6. なにがちがうの？ アスペルガー症候群の子の見え方・感じ方 7. なにがちがうの？ LD（学習障害）の子の見え方・感じ方 8. なにがちがうの？ ADHD（注意欠陥多動性障害）の子の見え方・感じ方 「どうしたら障害のこと説明できるのかな」という方、だれにでも（小学校中学年くらいから）わかるよう作られています。ぜひご一読を。 旧シリーズではダウン症・知的障害・身体障害・言語障害・聴覚障害・視覚障害・てんかんも一冊ずつにまとめられています。
ちょっと気になる子どもと子育て 子どものサインに気づいて	池添素著 かもがわ出版 1998.8 子育てに悩んでいる人たちが少しでも気持を楽にして肩の力をぬいて子どもとつきあっていけるようにと書かれた本です。おじいちゃん、あばあちゃんにも読んでほしい本です。
発達障害の子どもたち	杉山登志郎 著 講談社 2007.12 言葉が幼い、落ち着きがない、情緒が不安定。そだちの遅れが見られる子に、どのように治療や養護を進めるか。長年にわたって子どもと向き合ってきた第一人者がやさしく教える。入門書として読む新書。
発達障害の子どもの心がわかる本ー自閉症・ADHD・アスペルガー症候群・・・ (主婦の友新実用BOOKS)	主婦の友社 著・編集 主婦の友社 2010.2 自閉症、ADHD、アスペルガー症候群…発達障害の子の心をちゃんと理解することで、本人も周囲もぐんと楽になり、のびのび生きていくことができるようになります。
だれか、ふつうを教えてください！ (よしみちパン！セ)	倉本智明 著 理論社 2006.3 「障害」って何？と問う前に考えてください。「ふつう」って、そもそも何？いつか出会う誰かを思い浮かべながら、「障害」をとおして、世の中の常識やルールのなりたちを、ゆっくり、とことん考えるためのスリリングな手引きです。子どもに向けた「障害学」の一冊。
もしかして、うちの子、発達障害かも!?	岡田俊 著 PHP研究所 2009.4 今や全体の10%が発達障害と診断される状態です。ただ軽症の場合は見過ごされていることがあり、ただのわがままな子ども、言うことを聞けない困った子どもとしてそのままにされている場合が少なくありません。少しでも早く気づいてサポートしてあげることによって、本人もまわりも楽になれたらいいですね。
そうだったのか！発達障害 わざとじゃないモンー 実録4コママンガ	斗望 典裳 著 NPO 法人発達障害を考える会・TRY アングル 編 合同出版 2009.1 発達障害の「なかなか状況を理解してもらいにくい」「言葉で説明してもわかってもらえない」特徴をユーモラスに漫画で説明してあります。発達障害の分かりやすい入門書です。
自閉症児の保育・子育て入門	中根晃 著 大月書店 1996.5 「自閉症は『心を閉ざす』病気ではありません。表現能力ではなく、情報の入力機能の障害です」1番最初にコロニーの先生から教えていただいた、基本がよく分かる本です。
自閉症スペクトラムの発達と理解	別府哲/ 奥住秀之/ 小淵隆司共編 全障研出版部 2005.8 自閉症の基礎知識から始まり、子どもたちの立場に立った内面理解とかかわり方について、3人の著者がわかりやすく解説

ようこそ ダウン症の赤ちゃん	日本ダウン症協会 著 三省堂 1999.7 なぜ、ダウン症って名前なの？ダウン症って病気なの？なぜダウン症になるの？どのくらい生まれるの？どんな生活しているの？
すべてわかる こどものてんかん	日本てんかん協会編 クリエイトかもがわ 2014.6 こどものてんかんとは何か、治療や検査、日常生活、学校生活、病気との向き合い方などがまとめられています。
てんかん発作 だいじょうぶ (発作と介助)	日本てんかん協会編 クリエイトかもがわ 2008.3 てんかんと正しく向き合い、堂々と生きていくための一助となれば…ということを書かれた本でわかりやすい内容です。DVD付です。



障害のある子どもの 安心子育てブック 3つのねがいをかなえよう	池添素 著 全障研出版部 2005.9 子どもの成長を心から喜べる幸せな時間を、子どもにかかわるすべての人に感じてほしい。「子どものねがい」「親のねがい」「みんなのねがい」をかなえるためのアドバイスがたくさん載った本です。障がいのある子の家族（父・母・きょうだい・おばあちゃん）それぞれの立場の手記も素敵です。
「障害をもつ子を産むということ—19人の体験」	野辺明子・横尾京子・加部一彦 編 中央法規出版 1999.3 障害児を産んだ母親の体験記と医者サイドの見解が載っている良本です。この種の本では当時珍しいベストセラーになりました。
「障害をもつ子が育つということ—10家族の体験」	野辺明子・横尾京子・藤井和子・加部一彦 編 中央法規出版 2008.6 上の本の続編です。障害児とその家族がどのようなサポートを受け、どう成長したのかが載っています。
ダウン症児の母親です！ 毎日の生活と支援、 こうなってる	たちばなかおる 著 講談社 2014.8 ？？ばかりの障がい児ママの等身大の姿がよくわかる、漫画家・たちばなかおるの笑えて泣ける子育て奮闘エッセイ。障がい児教育の専門家や、福祉施設への取材、発達障がい児のママたちとの座談会も収録されていてお役立ち情報もいっぱいです。『今、笑えてるよ！』とストレートな言葉にぐっと来ます。
あほやけど、ノリオ ダウン症のアニキをもって	露の団六 著 中央法規 2004.12 こんなやつ、おってもええ！上方落語家が軽妙に語る重度のダウン症の兄との半生。毎日新聞連載「兄貴は楽しい？ダウン症」著者による単行本。
娘よ、ゆっくり大きくなりなさい —ミトコンドリア病の子と生きる	堀切和雄 著 集英社新書 2006.6 愛する娘が難病と診断された。その時、親として何ができるか—。一時は絶望のふちに沈むが、あらゆる可能性をかけて厳粛に、しかし軽やかさを持って病気と向き合っていく。同じ親として共感でき、著者と一緒に悲しみ、怒り、喜び…我が子とより良く生きていく決意をあらたにした1冊です。
Dear.Brother&Sister ～障がい児のきょうだいたち のホントの気持ち～	田中弘美（障害を持つ子どもの父母のネットワーク愛知）著 Hon'sペンギン 2005.9 「障害を持つ子どもの父母のネットワーク愛知（略称「父母ネット」）」が毎年開催してきた「障がい児のきょうだいについて考える」というテーマの例会の記録です。兄弟姉妹の本音が聞ける貴重な1冊です。巻末に親やきょうだいに向けてのアンケート結果も載っています。
障害のある人とそのきょう だいの物語	近藤直子・田倉さやか日本福祉大学きょうだいの会編著 クリエイツかもがわ 2015・8 障害児のきょうだいの思いを知りたいという支援関係者が多い中で、大学生にこれまでの自分とこれからの自分について語ってもらったものです。
8人のママからのメッセージ —子どもと私と療育と	障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会 編 全国障害者問題研究会出版部 2013.12 各地の療育施設に子どもと通うお母さんたちが、療育施設にたどり着くまでの道のりと療育による子どもの育ちを語った本です。お母さんたちの不安や戸惑いに共感し、そして立ち上がって進んでいく熱意に心打たれます。
「障害児なんだ、うちの子」 って言えた、おやじたち	町田おやじの会 著 ぶどう社 2004.2 障害児を育てるお母ちゃんたちは、みんなでおしゃべりしたり活発に動いたりしてるけど、おやじたちはどうしているんだろう？おやじだって、頑張ってるよ。ふつうのおやじたちの、それぞれの「障害児の父親物語」。
パパとママの声でつくりました 療育って ええな	子どもたちの保育・療育をよくする会編著 かもがわ出版 2012・10 京都の保育・療育で働く人たちが「ママ」「パパ」の声を集めてつくったものです。療育につながるまでの思い「療育とは?」「発達とは?」医療と情報との上手なつき合いなどが書かれています。
親子アスペルガー ちょっと脳のタイプが 違います	兼田絢末 合同出版 2011.3 アスペルガー症候群のお母さんと、アスペルガー症候群の二人の息子と怒って泣いて笑って感動の子育て記録。自分の体験をもとに、子どもの感じ方・考え方を推しはかり、適切な説明や方法を考えだすお母さんの子育てに感動しました。
あたし研究 1.2	小道モコ 著 クリエイツかもがわ 2009.10 / 2013.8 知れば知るほど私の世界はおもしろいし、理解と工夫ヒトツでのびのびと自分らしく歩いていける！自閉症スペクトラムの当事者が「ありのままにその人らしく生きられる」社会を願って語り出す。
み～んなそろって 学校へ行きたい！ 『医療的ケア』が必要な 子どもたちの願い	井上夕香 文 下川和洋 監修 晶文社 2005.2 4500人の子どもたちと、その家族の願いです。感動のノンフィクション童話。この子たちの笑顔を絶やさないうで。

<p>「育てにくい」と感じたら ～親・保護者のための 子育て応援BOOK～</p>	<p>近藤直子 著 ひとなる書房 2014.5 「育てにくい子」はかわいい子です。ステキな可能性を秘めたかわいい子です。でも、次々問題を出してくるので腹も立つし、心配にもなります。本当はかわいいと思いたいだけけれども、かわいいと思うことが難しいのが「育てにくい子」なのです。これは「はじめに」の一文です。「育てにくい子」の気持ちや子育て・保育のポイント、心の発達の道筋、そして子育て・保育Q&A等、親や保護者が元気になる内容です。</p>
<p>発達障害のある子と 家族のためのサポートBOOK 幼児編/小学生編</p>	<p>岡田俊 著 ナツメ社 2012.9 「発達障害かも…」と思ったらまず読んでほしい1冊。本書は発達障害のある子の子育てを安心して行うための指南書です。自閉症スペクトラム障害、ADHD、LD…さまざまな種類の発達障害があるけれど、どんな特徴があるの？診断はどのようにされるの？子どもとどのように関わっていったらいいの？そんな疑問や悩みについて、やさしく解説しました。ペアレント・トレーニングなど、親自身をサポートする情報が満載。一人一人にあったかかわり方、育て方をケース別に解説します。</p>
<p>発達障害の子を育てる 58のヒント 気持ちがラクになる！ 先輩ママの体験アドバイス (学研のヒューマンケアブックス)</p>	<p>小林みやび 著 学研教育出版 2014.4 発達障害の子どもの母として、先輩ママとして、学校で学習支援をする支援者として、保護者が知っておきたい情報を凝縮。困っている子どもとの接し方、教師とのかかわり方、養育の考え方など、保護者と子どものためのアドバイスが気持ちをらくにします。</p>
<p>発達に遅れのある子の親になる 1・2</p>	<p>海津敦子 著 日本評論社 2002.6/2007.8 「わが子の発達に遅れがある」それは親にとって一大事。その事実を受け止めるまでの不安、一歩前進する勇気、わが子と共に歩む決意…。自らも発達に遅れのある娘を持つ著者が、親たちにできることを真摯に考え行動していく。読みやすくとても力づけられる本です。</p>
<p>子どもの発達にあわせて教える 1.食事編 2.排泄・清潔編 3.着脱編 4.手指の使い方編 5.お手伝い編 6.社会生活編</p>	<p>小倉尚子、武藤英夫 監修 合同出版 2012.7 発達障害の子どもを教える際には、一人ひとりに合ったオーダーメイドの配慮が必要です。生活スキルの教え方を、細かくイラストで解説するシリーズです。</p>
<p>わが子が発達障害と 診断されたら (あんしん子育てすこやか 保育ライブラリー special)</p>	<p>佐々木正美 編著 すばる舎 2011.12 子どもが発達障害と診断されたときこれからの展望や見通しをどう持てばよいのかを「医療」「療育」「家族と専門職」の立場から、家族の不安をやわらげ、希望が持てるアドバイスをしてくれれます。</p>
<p>知的障害の子どものできる ことを伸ばそう！</p>	<p>向後利昭 監修 日東書院本社 2013.4 わが子の自立に目を向けた実践的なアドバイスがかかれています。知的障害への理解を深めていただく基礎能力を高めることでQOLが上がります。全国相談支援機関リスト付き。</p>
<p>発達障がいの子どものための 楽しい感覚・運動あそび</p>	<p>森田安徳 著 明治図書 2009.2 LD、ADHDなど発達障がいの子どもには大脳機能の基礎にある感覚・運動面での発育が大きな影響を与える。本書は感覚・運動の機能を10の領域から解説。保育・教育現場、家庭で楽しい96のおそびを紹介する。イラスト豊富にねらいや方法、支援のポイントを示した。</p>
<p>自閉症の本ー じょうずなつきあい方がわかる (セレクトBOOKS 育ちあう 子育ての本)</p>	<p>佐々木正美 監修 主婦の友社 2009.2 自閉症に関する正しい知識と、一緒に生活していく家族にとって必要なことから、イラストを用いて具体的に解説。周囲の人々の支援を得るために必要なことや、療育方法「TEACCH」についても実例を交えて紹介する。</p>
<p>自閉症の子どもと家族の 幸せプロジェクト ーお父さんもがんばる！ 『すらまめ式』自閉症療育</p>	<p>藤居学 著 ぶどう社 2008.7 子どもの障害を、親としてどう受け入れていけばいいの？自閉症児の子育て・療育に必要な知識とその実践方法を解説。父親も無理なく子育てに参加できる新しい家族の役割モデルを、当事者ならではの視点から明快に示す。</p>
<p>杖の役割ー障害支援の素 (おめめどうライブラリー VOL1)</p>	<p>奥平綾子/ハルヤンネ 著 おめめどう 2005.6 「自閉症・発達障害の人たちの正しい理解と適切な支援のための本。二つの中学校を訪ねて支援のあり方を語った体験、ある山間の小学校での人権学習会の模様を報告する。</p>
<p>自閉症の子どものための ABA基本プログラム 家庭で無理なく楽しくできる 生活・学習課題46</p>	<p>井上雅彦 編著 学習研究社 2008.10 知的障害や自閉症など、障害のある子どもの社会的スキルの訓練、身辺自立、コミュニケーションの指導などで大きな成果を上げているABA（行動応用分析）。その基本的な理論と家庭でできる実践的なプログラムを収録する。</p>

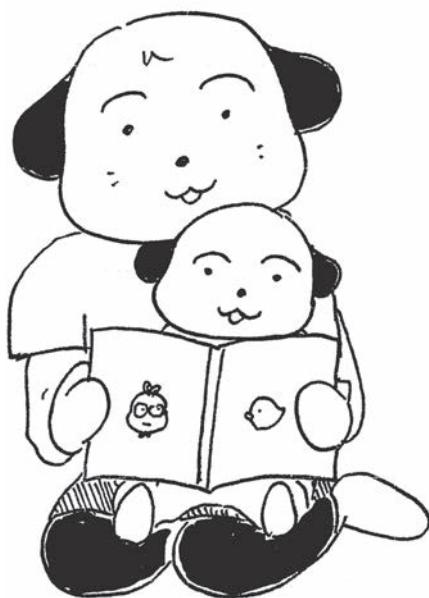
発達に遅れのある子の就学相談 いま、親としてできること	海津敦子 著 日本評論社 2005.11 障害のある子どもの親であることをマイナス思考で捉えず、親自身の人生を犠牲にすることもなく、親子ともども充実した人生を送るためにはどうしたらよいか。特別支援教育のあり方や、学校や教育委員会への対応、サポートブックの書き方などが具体的に書かれており、とても参考になりました。
どうして？教えて！ 発達障害の理解	奥住秀之 著 全国障害者問題研究会 2013.7 学校の現場にいる先生などが読んで実践に役立ててほしいです。専門書ですが、マンガも入っており、分かりやすく読みやすいです。
「ホントのねがいをつかむ」 ～自閉症児を育む教育実践～	赤木和重・佐藤比呂二 著 全国障害者問題研究会出版部 2009.5 この本は「教育」の視点で書かれています。それは具体的な支援方法や支援マニュアルという意味ではなく自閉症の子どもに「何のために」「何を教えるのか」といった教育目標、内容についての視点です。自傷行為が強く見られるD君への実践、「ねがいをつかむ・折り合いをつける視点についての対談、「障害特性に応じつつ、障害特性をこえていく教育へ」という提言等の内容で、教職員だけでなく保護者にとっても長い目で見た場合、どのような視点から子育てをすればいいのかという見通しについても書かれています。
重い自閉症のサポートブック	高橋みかわ著 ぶどう社 2011・2 知的な遅れと伴う自閉症の子への理解、必要な支援について、試行錯誤しながら息子さんを育てたおかあさんがまとめられた本です。
サポートブックの作り方・使い方 —障害支援のスグレもの (おめめどうライブラリー VOL2)	丸岡玲子 著 おめめどう 2005.6 障害のある本人の特徴・コミュニケーションの取り方・クセなどを具体的に、見やすくまとめ、サポートの際に支援者に利用してもらう「サポートブック」の作り方や使い方をまとめる。巻末に作成フォームも収録。
発達障害の子どもを伸ばす 魔法の言葉かけ (健康ライブラリースペシャル)	shizu 著 平岩幹男 監修 講談社 2003.12 親からの適切な「言葉かけ」で、発達障害の子どもは大きく伸びる！家庭で楽しみながら行える、ABA（応用行動分析）を利用した「言葉かけ」の方法を具体的にわかりやすく紹介します。
障害のある人たちの口腔ケア	栗木みゆき 著 玄景華 監修 クリエイトかもがわ 2013.12 口腔のケアは口臭の改善やむし歯の予防はもちろん、マッサージなどの刺激で口の機能を高め、誤嚥性肺炎の予防につながるもの。障害によるトラブルへの対応や注意点、口腔マッサージを、イラストと写真をあわせてわかりやすく解説します。障害児・者の口腔ケアをもっと身近にするための、訪問歯科診療、多職種・地域連携の取り組みにも注目です。
歯医者さんを好きになる —自閉症児・者のための7つのひけつ (おめめどうライブラリー VOL3)	高原牧 著 おめめどう 2007.4 誰もが苦手な歯医者さん、自閉症の方もおそらく苦手なのではないでしょうか？自閉症児・者に対する歯科治療の7つの秘訣と治療の工夫を紹介します。東北大学SOSセミナーにおける講演録も掲載。
障害をもつ子と太鼓に チャレンジャー仲間づくりと 集団づくり	國島典子 著 かもがわ出版 2008.2 ことばの相談室ホワイトベルの國島先生が始めた障がい児のための「和太鼓」。「楽しいこと」を通して成長していく子どもたちの姿が書かれています。太鼓を始めた方への指導書、療育指導の参考書としても。
あたらしいほうりつの本	又村あおい 著 社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 2014.3 障害のある人が地域で暮らしていくために必要なサービスを、できるだけわかりやすく紹介している本ということで、全ての漢字にルビがふってあり、説明もとてもわかりやすい内容です。障害者福祉の制度やサービスはよく変わるので複雑ですが、知的障害のある人にも読んでいただけるように、わかりやすいことばで説明してあります。

口で歩く	丘修三 作/ 立花尚之介 絵 小峰書店 2000.10 主人公のタチバナさんは身体が不自由です。でも天気の良い日には、車輪のついたベッドに乗って、1人で散歩に出かけます。さて、歩けないタチバナさんは、どうやって行くのでしょうか。
ぼくのおにいちゃん	星川ひろ子 写真・文/ 星川治雄 写真 小学館 1997.6 知能と身体に重い障害をもつ兄の成長を、弟の目から語ります。母である著者のメッセージが心に響く写真絵本。 星川ひろ子さんの写真絵本は、他にもたくさんあります。
もうどうけんドリーナ	土田ヒロミ 作/ 日紫喜均三 監修 福音館書店 1983.1 愛らしい子犬が、さまざまな訓練を経て盲導犬に。盲人と盲導犬の心あたたまる日常を感動的にうたいあげた写真絵本。
ありがとう フォルカーせんせい	パトリシア・ポラッコ 作/ 香咲弥須子 訳 岩崎書店 2001.12 トリシャは絵を描くことが大好き。でも字が読めない。LD児の心のさけびと感動の出会いを描く絵本。
いっぽいっぽ	よしむらあきこ 著 学研トイホビー 2005.7 障がいを描いた本ではありませんが、お母さんの気持ちがいっぽいっぽいっぽの時、お友達からいただいて、とても救われた絵本。
ゆっくりがいっぱい!	エリック・カール 作/ くどうなおこ 訳 偕成社 2003.9 いつものんびりのナマケモノくん。物静かな彼の姿を通して、ゆっくりすることの大切さに気づかせてくれる絵本。障がい関連の本ではありませんが、子どもに読み聞かせながら、親自身も考えさせられたり、心打たれた絵本です。
マイルール 自立のすすめ	辰巳渚 著/ 朝倉世界一 絵 毎日新聞社 2008.11 発達の違いのある子どもに社会のルールを理解してもらうのはなかなか難しいこと。小学生の子どもが目線で楽しいマンガとともに書かれているので、親が子どもに説明する手がかりにも使えます。子どもたちが強く優しく生きるための「人生の教科書」。
こういうときどうするんだっけ自立のすすめ マイルール	辰巳渚 著/ 朝倉世界一 絵 毎日新聞社 2010.10 贈り物をもらったとき、迷子になったとき…。小学生のまきちゃんと一緒に考えることで、身の回りの課題に自分で対処する自立心を身につけることができる「自立の教科書」。子どもと一緒に読める本です。さらに続編もでてますよ。
おこだでませんように	くすのきしげのり 著/ 石井聖岳 イラスト 小学館 2008.6 いつもいつも、怒られてばかりのボク。一生懸命やってるのに、怒られてばかりいる。そんなボクが、七夕の短冊に書いたのが、「おこだでませんように」(怒られませんか)。不器用な子どもの、言えない苦しい胸の内を教えてくれる絵本です。
だいじょうぶ だいじょうぶ (ちいさな絵童話りとる)	いとうひろし 著 講談社 1995.10 「だいじょうぶ だいじょうぶ」というおじいちゃんの“おまじない”がぼくに教えてくれたのは、「この よのなか、そんなに わるい ことばかりじゃないって ことでした」。穏やかな暖かさに満ちている絵と「だいじょうぶ だいじょうぶ」という言葉は、読み聞かせをしている親にとっても、柔らかな心を取り戻すおまじないになりますよ。



だいすき!! — ゆずの子育て日記 — 1～17	愛本みずほ 著 講談社 2005.6～2012.9 ドラマにもなりました。軽度知的障がいの女性の結婚・出産・子育ての姿を描く。全日本手をつなぐ育成会の協力のもと、日本中で取材。「大切な人とともに生きる」を考えさせられるお話。
光とともに… — 自閉症児を抱えて — 1～10	戸部けいこ 著 秋田書店 2012.4 文庫版 ドラマにもなりました。ごく普通の恋愛をして、幸せな結婚をしました。かわいい子どももさずかりました。でも…子どもは自閉症でした。
この星のぬくもり — 自閉症児のみつめる世界 —	曾根富美子 著 ぶんか社 2004.8 高機能自閉症児の側から見つめた世界を、実体験に忠実に描いたコミック。
はだしの天使1.2	さがわれん 著 ぶんか社 2005.9 / 2004.8 自閉症児をみつめ考える実体験コミック。
「どんぐりの家」1～7	山本おさむ 著 小学館 1993.7～2014.12 知的障害と聾をもった女の子とその家族の成長物語。 関東に日本で初めて建った入所&作業所の実話を脚色。

※書籍名や説明内容については、著者及び出版社の意向を尊重する立場で表記してあります。



～親の手記～

※これらは、H22年冬からH30年春にかけて書かれたものです。

ともに生きる

母

〈ダウン症候群〉Cちゃん 5歳
●3歳3ヶ月 母子通園施設
●5歳～ 幼稚園

娘が生まれたのは雪の日でした。3人目の出産です。今思えば、体の調子がいつもと違いましたが、障害があるとは全く考えもしませんでした。いつもなら喜びに包まれるはずの分娩室で先生の顔が曇ったのを忘れることが出来ません。NICUのある病院に転院するため雪の積もったなか迎えにきた救急車、その日から毎日搾乳し冷凍した母乳を持って会いに走る雪道が目には焼きついています。雪の日が嫌いになりました。あなたを選んで生まれてきたという看護師さんの励ましも、プレッシャーでしかありませんでした。ダウン症のひとを見たことはあっても深く接したことはありませんでしたし全くの無知でした。泣いて泣いて、自分の事や世間体ばかり考えていました。

合併症に苦しんで入退院の繰り返し、ついには急性骨髄性白血病。治療が終わり小牧に戻ったのが3歳。再発や予断を許さない合併症に恐怖を感じる日々…。そんな時、小牧市の母子通園施設あさひ学園に出会いました。先生方も共に通うお母さん方も優しく温かく、居場所がないと感じていた私はとても救われました。母子共に楽しく通わせていただき、生きるヒントをたくさん教えていただきました。

この春から年長

さん1年だけですが、幼稚園に通うことが出来ます。同年代のお子さん達とふれあえる貴重な1年。ぐんぐん吸収して楽しんで通えますように。笑顔でいられる場所でもありますように。

すごく辛いことや大変なことは数えきれないほどありました。でもそれ以上に、娘が教えてくれたことがたくさんあります。大切な出会いがあります。そしてなにより娘がとても愛しいのです。ゆっくりな成長や、他人からみたら分かりづらい行動もきちんと意味がある。私はそんな娘の一番の理解者であり続けたいと思います。今でも落ち込むことや心配や課題は山積みです。この先も想像も出来ないようなことが起こるかもしれない。でも、きっと乗り越えられる！

娘はゆっくりですが確実に成長しています。私も泣いてばかりの頃より少しは強くなりました。体調が安定していることに感謝し、家族みんなで笑い、のびやかに生きていけたらと思っています。

息子の障がいを知って

母

〈自閉症〉Yくん 5歳
●1歳半～ 保健センター なかよし教室
●2歳～ あさひ学園 毎日組
●4歳～ 幼稚園

Yは、小さい頃はとても育てやすい子どもでした。夜泣き等も無く、よく食べよく眠りました。1歳を過ぎてても言葉が出ないのが気にはなっていましたが、初めての子どもで男の子ということもあり深刻には考えていませんでした。

1歳半健診の時に言葉が出ないこと、また私自身Yとどのように接すればよいのか少し悩んでいる事を相談すると、保健センターのなかよし教室を紹介されました。週1回、半年間通いましたが言葉はまだ出ず、同じ位の年齢の子と比べ指示が通らないこと等、ますます気になる事が増えていました。保健師さんに相談すると、あさひ学園を紹介されました。お話を頂いたのが3月だった為、4月から毎日組で通うこととなりました。

恥ずかしながら、この頃になりようやくYに障がいがあるのかも…と考え出しました。あさひ学園でお母さん方から発達障がいについて話を聞き、Yの様子を見てみると、Yに障がいがある事を確信するようになりました。初めて受けた言語訓練で、「障がいがあるか無いかと言われれば、有ります。」と言われた時にはショックも受けましたが、『やっぱり』と思う気持ちの方が強く、また、そう言われたことにより、『では今後Yにどう接していけばいいのか』ということに上手く思考を切り替えることが出来ました。

あさひ学園での

生活はYにとっても私にとっても、楽しく充実した毎日でした。初めは一人の世界で遊んでいたYも、周りに興味を持ち言葉が出るようになりました。見通しを立てられるようになり、簡単な指示なら通るようになりましたし、何より苦手だった『待つ』ということが出来るようになりました。障がいについての勉強の機会も沢山与えて頂き、お母さん方との交流も貴重な時間でした。先生方は子どもたちが一つでも多くの事が出来るようにと、日々の活動に取り組んでくださいました。また、保育園や幼稚園で行うような数多くの行事を企画して頂きました。

2年間通ったあさひ学園を卒園し、Yは今幼稚園に通っています。他の子と同じようにとはもちろんいきませんが、少しずつ出来ることも増え、毎日楽しく通っています。正直未だに『普通の子だったら』と考えたり、『どうしてこんなことが出来ないのか』と苛立ちをYにぶつけてしまうこともあります。それでも、夜Yの寝顔を見るたびにこの子を産んでよかったと思います。この先も色々悩むことは有るかと思いますが、ゆっくりと、でも確実に成長しているYの力を信じていきたいと思っています。

Uの日々をつなげること

母

生後2ヶ月に市の助産師訪問があり筋力が弱い気がする」と助言を受けて地域小児科へ。そこで成長の遅れではないと紹介状を貰い、愛知県心身障害者コロニー受診。

小児神経医師よりこの病気（脊髄の運動神経細胞の病変による筋萎縮症）の特徴『全身の筋力低下により哺乳困難、嚥下困難、誤嚥、呼吸不全を伴う。自発呼吸の限界が来るため人工呼吸器を用いない場合、死亡年齢は平均6～9ヶ月、95%は18ヶ月までに死亡する。生命を救うためには、気管切開と人工呼吸管理が必要である』を聞いた後暫くは、わが子に起きていることに理解がついていきませんでした。違っていて欲しいとの願いとは裏腹にひと月後（生後4ヶ月）には、呼吸筋が衰退し全身全力でやっと呼吸をしているUに呼吸器装着が寿命だと看取るかの選択を求められました。「子の成長」を楽しみに出来ないのだとようやく飲み込みはじめた頃、娘には生命の危機が迫っていると知り病気の進行の早さに戸惑いとも落ち込みました。しかしこのどん底の気持ちを味わったからこそ真剣にUの「生」を考え、気管切開術を経て人工呼吸器を装着し『これから』へ目を向けるようになりました。

重度の肢体不自由、そして人工呼吸器装着の小児。どのような未来があるのか想像できませんでした。医師が「子は家族と過ごすのが一番」と後押ししてくれ病院ではなく自宅で娘と暮らしたい目標を持ちました。日常的且つ慎重さが重要な医療的ケア、自身では全く動けない娘の体位変更や蘇生バッグ（手押し呼吸器）を用いた安全な入浴方法などUとの生活を快適にしていこうとあらゆる注意や工夫を私も病院に付添い入院し学びました。落ち込む私を叱咤激励し、家でのUとの生活に勇気づけてくれる素晴らしい看護師が多くみえ心を支えて下さいました。

平成19年6月より在宅生活スタート。平日日中は訪問看護師とヘルパーさんの手をかりUが快適に過ごせれるよう努めています。我が家で必至の医療的ケアも指導・練習を重ね多くのヘルパーさんに口鼻吸引や時に気切部吸引にも携わってもらいます。在宅生活も4年、Uも5

《脊髄性筋萎縮症Ⅰ型（国の特定疾患）》 Uちゃん 5歳
《病気の症状》

全身の筋力低下。筋萎縮。深部腱反射消失。
呼吸不全から無気肺や肺炎・気管支炎を繰り返す。

《Uの症状経過》

生後2ヶ月発症、4ヶ月時気管切開し、人工呼吸器装着。
6ヶ月時胃ろう増設。

《社会とのつながり》

2歳～ あさひ学園へ相談。

3歳～ 同施設の自宅訪問療育を月に1度、体調よく人手が
つけば通園（実際には3ヶ月に1度位）

《福祉サービスの利用状況》

月～金 訪問看護 2回/日

月～土 ホームヘルパー 1～2回/日

訪問PTとOT 1回/週

歳前です。私たちはこれまで社会福祉資源を上手く活用しUが病院ではなく自宅で家族と安全快適に暮らせるよう構築してきました。そこまでは沢山の方の助言や実際にも手をかり、続けてこれているのだと感謝がつかみません。

こうして「居宅」生活は軌道に乗っており申し分ないのですが、現在は体調が良く、散歩に出たくとも、ヘルパー利用を考えると、支援サービスの範ちゅうが別となり自己負担も発生しうるので気軽には使えません。更には小牧市が通学/通園にはヘルパー利用が来ず、今も、そして学齢期の通学法が見えてこず折角の集団の場、経験や刺激の多い場へ赴く機会損失が懸念され不安に思っています。

そして自宅での入浴も、様々な点から限界を感じており、現在利用している訪問入浴が一番安全に本人もリラックスして温まれる入浴法ですので利用限度回数規制の緩和をととも望んでおります。障がいは人それぞれ、必要となるケアも様々です。年齢や手帳で大きく区分けされているサービス提供の分野をもっと細やかに本人に合った内容へと充実して欲しいです。



ゆっくりすすむ

母

子どもは逆子で、母の既往症もあったため、帝王切開で生まれてきました。ひょろりとした赤ん坊で母乳を飲むのも上手ではなく、表情の発達、首の座り、一人歩きも遅く、「何か違うかも…」と思いながらの育児でした。定期的な健診でも、「もう少し様子を見ましょう」と何度も言われ、やっとの思いで愛知県コロニーの児童精神科へ連絡を取ったら、見ていただくまでに3ヶ月待ち（それでも早いほうだと後で知りました）。

検査結果は「精神発達遅滞」でした。知的に、また体自体も発達が遅れているとのこと、母親の感想は「ああ、やっぱり」。父親は良く分かってない顔をしていましたね。

その後はあさひ学園の療育にお世話になり（次男の出産もあったので半年と短いものですが）、母子通園をする中で、発達遅滞の息子との付き合いを多少なりとも教わることができたのではないかと思います。よそのお母さんと子どものかかわりを毎日見られることで、自分と子どもを客観視する機会ともなりました。

幼稚園は幸いにも、家の近所に子どもの障がいを理解していただけたところがあり、年少から通園しましたが、一年目は訳が分からないまま子どもも通っていたのだと思います。でもその一年をばねに、年中からは少しずつ言葉も出はじめ、運動会ではみんなと一緒に遊ぶことも頑張っていました。それでも年長になり、「来年には小学生ですね」といわれたときには「ちょっと待って」と思いました。まだトレトレーニングも完了しておらず、鉛筆で線を引くこともおぼつかない。

〈精神発達遅滞（原因不明）〉

Hくん 7歳 療育手帳C判定

- 1歳半～ あさひ学園 あすなる教室
- 2歳半～ あさひ学園 毎日組
- 3歳～ 幼稚園
- 7歳～ 小学校

言葉も未だ2語文がやっと。さらに家から小学校までは緩やかな上り坂

で2kmもあり、体力的にもキツイ。子どもに障がいがあるとわかったときによく、「ゆっくり育てる子だから、ゆっくり育てればいい」と言われました。でも就学は待ってられない。どうしようかと思ったとき、就学猶予の制度を知りました。教育委員会に「是非に」とお願いしたところ、一年の猶予が許可されました。幼稚園にも通園の延長を快諾していただけたので、猶予期間中は、年少になった次男と一緒に幼稚園に通うことができました。これは兄の通院や訓練などでいつも置いていかれてしまう次男にとっても、母や兄と一緒に時間が作れたという点でとてもありがたかったです。子どもは猶予の間に、できることも増え、体力も向上しました。その上で入学できたことは良かったと思っています。無理しても、本人も親も先生もつらい（笑）。

小学校では先生方と相談の上、特別支援教室に入れていただき、毎日楽しく過ごせてきています。勉強も本人的にはものすごい頑張りです。通学はトイレや事故の心配があるので、通学団と一緒に母親も歩いています。歩くのがつらいときには車で送ったりもします。無理をすると続けられません（笑）。

これからもいろいろあるとは思いますが「できることをやろう」（ま、できないことはしかたないよね…（笑））をモットーに家族で頑張りたいと思います。

天使のような息子へ

母

息子が二分脊椎（にぶんせきつい）とそれに伴う水頭症という病気がわかったのは、妊娠8ヶ月の中ごろの普通の検診でエコー検査をした時だった。どういう病気が説明してくれたがまるで頭に入らず、帰りに図書館で調べた。誰にも言えず2週間後の検診でまた説明してもらった。その日やっと夫に言った。「しょうがないじゃん」って簡単に言われた。「まあね…」

障がいがあるといわれてもはっきりいってどんな障がいかが、どれほどの障がいかは全くわからなかった。そんな気持ちで臨月を迎えた。そして帝王切開で生まれた。でも腰の部分の皮膚が足りなくて神経が切れているのが見えていた。その日から約1ヶ月愛知県コロニーに入院した。2回の大手術を終えた。術後はとても順調で日に日に元気になりたくさん体につながっていた管が一本ずつとれていった。そして元気に退院した。とても大きい目でしっかりと見てくれた。これからどんなことを人に言われるかわからない、でもちゃんと私が守ってこう。足の感覚は無くても手がある。障がいはあってもかわいい私の子には違いない。2歳半になった時から少しずつ動いたり言葉が出たり人よりゆっくりではあるがちゃんと成長していた。排尿、排便機能にも麻痺があり5歳くらいから導尿と浣腸、

〈二分脊椎・水頭症〉 Mくん 9歳

- 2歳前 あさひ学園 あそび組
- 2歳～ // あすなる組
- 3歳～ // 毎日組
- 5歳～ 保育園（交流）
- 6歳～ 小牧特別支援学校

摘便をするようになった。入院中に骨折も経験した。

全く痛がらないので誰も気づかず、赤く熱をもって腫れてきてようやく気がついた。

水頭症のトラブルや側弯の手術など、考えられないくらい今までに手術をしている。これから手術がなくなることはない。よくがんばっているなあと思う。初めてつくった車いすに乗って自分であちこちと走り回ったり、くるくるしたり、車庫入れのようにやってみたりと楽しそう。彼は彼なりにがんばっているから私はすごいと思う。しゃべりは人一倍。最近よく彼のことを叱る。自分でできることを増やしていかなければいけないし、いずれは自分で導尿しなくてははいけない。家庭学習でひらがな、かたかな、一年生の漢字がわかるようになった。とても言い表せないほど感動した。感動して泣いてくれる学校の先生もいる。この子はほんとにまわりの人々を幸せにしてくれるし、選んで生まれてくるというが、私たちを選んでくれてありがとうと言いたい。いつも幸せをくれてありがとう。私たち家族の話題はいつもあなたです。ずっとずっと仲良くしようね。

優しいI兄ちゃん

母

Iは発語は少し遅めでしたが、姉の影響かよくしゃべる「おままごと」や絵本などの遊びが好きな子でした。3歳頃から「落ち着きのない子」と認識はしていました。1分あれば迷子になれる特技は5回ほど。「迷子案内放送」を某スーパーで経験後、『すみません。お母さんが迷子になったから、放送で呼んで下さい。』と店員に自分から声をかける成長ぶり。今でこそ笑えますが、当時は縛って家で留守番させようかと本気で考えていました。私立幼稚園入園後も『嫌と言ったら嫌!』と我が強く先生を困らせ、手に負えないと母子通園も経験させてもらいました。面倒臭のよいおっとりした仲良しの友だちが出て『I君はしょうがないねえ。手伝ってあげるから一緒にがんばろう?』などの声かけのおかげで、園にも馴染めました。

本当に辛かったのですが、小学校に入ってからが更にもっともっと大変、問題山積みでした。AD/HDの診断は、担任教師に小1で指摘をうけ、小2でやっと受診。知的に問題がなかったため逆にIは『なぜみんなと僕はこんなに違うのか?』皆が出来るあたり前の事が出来ない事、皆の前で注意を受ける事が『自分が悪い』と理解しているけど、感情面で受け入れられないようでした。待たなしの困り事に「あさひ学園」が救いでした。相談・助言だけでなく、弟(脳性マヒ)に接する様子を見て『I君はすごくいい子だよ。』と

言ってもらい気持ち が楽になりました。この頃は直情型で乱暴、口と手が一緒にできるよ

な子でいつも私は誰かに謝っていました。でも弟の事を悪く言う子、弱い者いじめをする子に刃向かってた事もあったようです。虐められていた子の保護者から後になって『I君がうちの子をかばっていじめっ子をやってくれたの、ありがとう。』と聞く事がありました。でも「いじめっ子」のお子さんにケガをさせてしまい、謝罪に伺い『しつげが悪い。』『どんな育て方してるんですか?』散々言われて無理心中を考えたこともありましたが、あさひ学園の先生に『子どもの力を信じて成長を見守る事って大切だよ』と親だけでは頑張りきれなかったあの時に支えてくれた専門家の先生や同じような子を授かりあさひ学園に通うママ友に励まされ、『これからもきっと何かあるかもしれない。』と心にとめながら毎日、自分で出来る事は目一杯がんばる母を『しょうがないで手伝ってやるわ。』と言えるほど育ったI兄ちゃんを今、頼もしく思っています。

- 〈AD/HD(注意欠如多動性障がい) Iくん 17歳 療育手帳なし
- 3歳～ 幼稚園
 - 6歳～ 小学校
 - 7歳～ コロニー受診 AD/HDと診断
 - 7歳～12歳 服薬
 - 13歳～ 中学校
 - 16歳～ 公立高校

ともに成長した19年間

母(N・H)

この春、娘は充実した高校生活を終え、元気に大学へ通い始めました。こんなに安定した日々が送れるなんて…ついこの間まで想像できませんでした。今まで娘に関わってくださった方たちのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

娘は小さい頃は自閉傾向が強く、いろんな刺激に敏感で緊張・不安・混乱で不安定になることも多く、睡眠時間の短い子でした。言葉は不自然でしたが出ていたので、健診では異常なしとされましたが、健診以外の場所でたまたま娘の様子を見られた一人の保健婦さんが専門医の受診を強く勧めてください、『一応行ってみるか』と病院へ行くこと自閉症と診断されました。2歳7ヶ月の時でした。コミュニケーションが取れず、多動で一時も目が離せず、こだわりやパニックにどう対処したらいいかわからなかったの、原因がわかったことで少しほっとした気持ちでした。その時ドクターから言われた「自閉症は治りませんが軽くすることはできます」の言葉が私を強くさせてくれたのだと思います。障がいをできる限り軽くし、生きにくさを減らしてあげたい。娘のためにできるだけのことをしようと心に決めました。

そして、自閉症を理解し特性に合った対応を知ろうとたくさんの本を読み講演会にも行きました。早い時期に診断された娘はラッキーだと思いました。発達の段階に合わせた対応がとても大切だからです。小学校に入るとアスペルガー症候群(言葉の遅れの無い自閉症)と診断されました。集団生活は見通しがつかない

ことが多く、環境を整えてやることも必要でした。専門家に相談しながら学校と連携を取ってサポートしてきました。

思春期になると周りから見た自分がみえてきて、強い劣等感をもったり被害妄想になったり、本人も家族も本当に大変でした。でも、そこを乗り越えて、できないことや苦手なことがあっても自分は自分なんだと思えるようになっていくのでしょうか。

娘に合った高校に入學し生活が安定してくると、過敏さやこだわりは軽減してきました。ささいなことで挫折していましたが気持ちの切り替えも早くなりました。同時に学校で初めて友だちができて、自分に自信がもてるようになったようです。

大学生になって、新しい環境や対人関係に戸惑うかもしれないけど、困ったことがあれば周りの人に助けをもらいながらやっていける気がします。融通は利かないけれど真面目で誠実なところは娘の最大の良さだと思います。こだわりもひとつの事に集中して地道な努力ができる特技。考えることが人ととはちょっと違ってはいるけれど発想がとてもユニークで周囲を楽しませてくれます。

子育てが一段落した今、私の方が彼女から力をもらっています。

- 〈アスペルガー症候群〉 Kさん 19歳
- 2歳～ 母子通園施設
 - 3歳～ 知的障害児通園施設
 - 5歳～ 保育園
 - 6歳～ 小学校(特別支援学級)
 - 12歳～ 中学校(特別支援学級)
 - 15歳～ 高校(昼間定時制)
 - 19歳～ 大学

穏やかに過ぎて行く毎日。気がつくといわが子も25歳。色々なことがあったけれども、今はこうして流れ行く平穏な日々感謝しています。

生後すぐにわかった先天性の病気。病名も理解できないうちに、入院、手術、やっと我が家に帰ってきてきたものの、頻繁に起こるケイレン、そしてまた入院、成長は止まったまま、全く先の見えない毎日でした。それでも、「見えないかも」と言われていた目も少しづつ見え始め、一歳も過ぎ、余裕ができたところ、何となく不安で聴力検査を受けたところ、「高度感音難聴です。この世の音は何も聞こえません。すぐ訓練を始めなさい」との言葉。あちこち回った病院も全て同じ答えでした。時は待ってくれません。すぐに名古屋の保健センターの聴能訓練に通い始めましたが、何をさせても泣き喚くばかり。コロニーのリハビリも相変わらずで、遅々として進まぬ毎日でした。

そんな絶望感の私を救ってくれたのが、市に紹介を受けた「あさひ学園」でした。2歳前より通い始め、先生やお母さん方と触れ合ううちに、次第に心が開けていき、他の子と比べず、自分の子をしっかりと見つけ、小さな変化や成長に目が行くようになりました。やっと前を見つめ進み出した感じでした。

そうして名古屋や聾学校の聴能訓練や、コロニーのリハビリに通いながら、あさひで4年間を過ごしました。その後は市に無理を頼んで、保育園に親付きという条件で入れてもらい、1年間行きました。その保育園では、普通の子と並んで接し、良い刺激を受けることによって、更に精神面や社会性が進んでいき、どんどん周りに目や気持ちを向けるようになりました。

さて小学校、迷ったけれどやはり同じレベルの子どもの集団が良いと考え、聾学校ではなく、特別支援学校を

選びました。低学年の頃は、熱やケイレンで半分くらいしか通えませんが、3、4年頃になると、体もしっかりしてきて、病気もせず、授業参観に行っても、いつも泣き喚いて寝転がっていた子が次第に落ち着いて授業を受けられるようになっていきました。ケイレンも止まって、丈夫になるに従って、知恵の方もどんどん付いていき、親子や先生とのコミュニケーションもとれるようになっていきました。高校で習ったパソコンに興味を示し、それを使って色々自分で調べ、考え意思を示すようになり家族とも良い関係を持てるようになりました。

さて卒業、もうあの頃の子どもではありません。自分のことはほとんど出来ます。自分はもう大人だーとか言って、意思もはっきり出していきますので、説明したり説得するのが大変です。相変わらず言葉は出ませんが、絵や文字やパソコンで色々訴えてきます。今は近くの通所施設へ毎日通い、ほとんど休まず行き、得意のパソコンで毎月の予定表や給食の献立表などを、下書きを見て、打ち込み製作をしたり、会社の下請けなどの仕事をしていて、とても楽しそうです。

余談ですが、私も50歳近くなって、やっと就職しました。ははは最近「私ケアホーム行くよ！友達と生活したいの」とか言い出し、そちらの方面へ向け、努力も始めています。思い起こせば本当に色々なことがいっぱいあって、それでもその時その時を色んな人達の力を借りて、乗り越えて来ました。

それはこれからも続いていくでしょう。でも、過去も振り返りながら、未来に向かって進んでいきます。この子とともに いつまでも どこまでも。

これからも家族仲良く

母

私たち夫婦の初めての子どもとして昭和54年12月23日息子が誕生しました。首のすわり・ハイハイ・つかまり立ち・歩く、全て順調でしたが、1歳ごろから、言葉が出てこない他の子に興味がない・目が合わない・多動、何かおかしいと不安な日々が続きました。そんな息子は幼い頃怪我ばかりしていました。

- 1歳 調理中の鍋を引っ張りやけど…
- 2歳 車にダイビングして、ナンバープレートで目の上を怪我…
- 3歳 民宿の2階の窓から落下、偶然無傷でした…
- 4歳 幼稚園見学で遊具から落下し、頭から血を流し、結果、入園拒否…
- 5歳 散歩中、転んで五寸釘が頬を貫通…
- 6歳 手首骨折…
- 7歳 自転車と激突して大けが…
- 8歳 交通事故で足の指骨折…

大変でしたが、不思議なもので10歳ごろから怪我をすることは無くなりました。その頃の私の夢は、ゆっくり夕食の支度がしたい、洗濯物をゆっくり干したいでした。

最近、息子に対して、心がけていることがあります。それは、息子の話に耳を傾けて、決して否定しないで、受けとめることです。「そうだね」「そうなんだ」「そうよね」「わかったけど少し考えさせて」などと答えると、息子の気持ちが落ち着くのがよくわかります。

でも娘に言わせると2割は実行できているけど、8割はなかなかできていないとのことですよ！元ちゃんな息子に対

して2割の実行率は凄いいことだと自負しています。

娘は息子より2歳年下ですが、二人が成長する間には、色々な問題もありましたが、お兄ちゃんが大好きでした。娘は幼稚園のころから、友達にも自分の兄のことをすべて話していました。家にも友達を連れてきて、兄の事を説明していました。現在も変わることなく自分の周りの人に理解を求めているようです。

娘の結婚の時は母親なりに悩みましたが、問題もなくスムーズにいきました。しかし、結婚により、息子に義弟が出現、1年後には姪まで誕生しました。なかなか急激な変化についていけないため、かなり気持ちを乱していました。最近では、義弟とテレビゲームやDSでコミュニケーションを図っています。また、そばに寄ってきたり、泣き声が苦手だった姪にも、私に「抱っこしてもいいですか?」と聞くようになりました。

周囲の大きな変化にも少しずつ馴染もうとしている息子の姿は、私自身、もうひと踏ん張り子育てを頑張ろうと思わせるほどです。

これからも、家族仲良く楽しく過ごそうと思っています。

〈自閉症〉 Mさん 35歳

- 1歳半～ なかよし教室
- 3歳3ヶ月～ 県保健センター
- 4歳～ 幼稚園
- 5歳～ 転勤のため転園(横浜)
- 6歳～ 小学校(特別支援学級)
- 11歳～ 転勤のため転校(千葉)
- 12歳～ 特別支援学校中学部(愛知)
- 18歳～ 通所授産施設

娘と歩いた40年

母 (M・F)

〈未熟児網膜症〉 Yさん 50歳

- 5歳～ 名古屋盲学校
- 21歳～ 治療院
- 27歳～ 在宅・リハビリセンター
- 33歳～ 名古屋盲人情報文化センター
- 34歳～ 名古屋ライトハウス
光和寮(入所)

娘は昭和43年に1100gの低体重で生まれました。当時はこんなに小さな子は育たなかったと思いますが、産婦人科の先生方のおかげで一命を取りとめました。そして、4ヶ月後退院して来た時、既に左目に異常が見られました。未熟児網膜症です。数件の病院に行きましたが両目とも失明は免れないとのことでした。

命は助けて貰ったのだから、例えば目は見えなくても回りの子と同じように育てようと心に決めました。住まいが県営住宅でしたので同じ年頃の子は沢山います。と言っても娘の成長は丁度1年遅れでしたが、砂場で一緒に遊ばせ、成長するにつれ三輪車、自転車と手助けしながら付いて行きました。毎日一緒に遊んでいる子が幼稚園に行く頃になって娘の目が見えていないことに気がついたくらい違和感はなかったようです。40歳を過ぎた今になっても一人で自転車に乗ったことは良い思い出になっているようで時々口にします。

5歳になって県立名古屋盲学校の幼稚部に入学し、高等部専攻科を卒業するまでに実に16年間名盲で過ごしました。初めての運動会で「トンボのめがね」を踊る姿を見た時には涙が出てしまいました。先生が一人ひとりと、手取り足取りして教えてくださったのです。盲学校には全盲や弱視、年齢も幼児から5、60代の大人

まで色々な人がいます。それだけに運動会や文化祭は工夫がなされていて面白いです。

学校卒業後は住み込みや通ったりして治療院で働きました。通勤は最寄りの駅まで送り迎えが必要ですし、帰宅が9時ごろになるので本人にも家族にもかなりの負担でした。

丁度その頃、音声装置を付ければ盲人でもパソコンの操作が出来るようになりましたので仕事を辞めて名古屋市総合リハビリテーションセンターに通いパソコンを教えて貰いました。活字を見たことのない先天盲の子が漢字仮名交じりの文を書くのですから先生も大変だったと思います。でも根気良く教えてくださいました。

現在は、名古屋ライトハウス光和寮(授産施設)でパソコンを使って、会議録や講演会のテープを活字にする録音速記の仕事をしています。

娘には、イチゴ狩り、映画、お芝居、野球観戦などいろんなことを経験させました。勿論買い物も一緒に行きます。家族だけでも差別しないで何でもチャレンジしてほしいと思います。



4月にMは生まれました。とても忘れることのできない東日本大震災の1ヶ月後、被災地仙台で誕生しました。その2ヶ月後、夫の転勤で小牧市に引っ越してきました。

Mは、首のすわり、おすわり、はいはい、歩行と特に遅れていることもなく育っていました。1歳過ぎたぐらいから、私の言葉が全く通らず、行動も他の子とちょっと違うかなあと感じるようになりました。そんな時、Mが熱を出し、嘔吐、痙攣、意識障害で入院しました。検査の結果特に異常はなく、熱性痙攣と言われました。この時の入院で、発達が遅れているのではという事で、様子をみていく事になりました。その後すぐに、1歳半健診があり、保健師さんからも教室を紹介され、「発達相談を受けてみて下さい」と言われ、保健センターで発達相談を受け、「少し遅れているね」という回答でした。「少し遅れている」と言われるばかりだったので、私は早い遅いがあるからと、あまり気にしていませんでした。

そんなある日、地区担当の保健師さんから連絡があり、あさひ学園を勧められました。私は、Mと一緒に遊びに行く場所が欲しかったので、毎日組に入りたいと言い、2歳になる4月から通うことになりました。

2歳になっても、言葉が出ない事、私の指示が通らない事、頭の大きさが極端に小さい事などを病院の先生に指摘され、コロニーを紹介されました。コロニーで診察を受け、発達テストをし、結果、知的障害と言われました。ずっと少し遅れているだけで、とり戻せるのではないかという私の思いが破れてしまい、「なぜ? どうして?」という思いでいっぱいでした。

私には、2つ上の姉がいて、最重度の知的障害で、物心ついた頃から、色々な思いを抱えて生活してきました。それなのに、自分の子どもも、また障害児なのかと、「なんで?」と強い思いが込み上げ、毎日泣いてばかりいました。姉は自閉症と知的障害、Mは遺伝子変異の

知的障害で、別のタイプでした。始めはこんな思いであさひ学園に通っていましたが。毎日通ううちに、先生方や他のお母さんたちと仲良くなり、子どもの事を相談し合えて、楽しくなっていました。私は、この1年、とにかく毎日通う、自分の為、Mの為にと頑張りました。

次の年、就園を目指して行こうと思い、幼稚園を見学に行ったりと積極的に行動していました。この時、Mは痙攣が頻繁に起こるようになり、コロニーで診察を受けていました。結果、てんかん薬を処方することになりました。なかなか合う薬にめぐり合わず、痙攣の数は増えていき、私も気持ちが沈んでいました。希望する幼稚園からは、母子通園して欲しいと言われ、第二子の出産も控えていた為、悩みました。

その後、夫とも話し合い、願書を出す前に就園を辞めて、もう1年あさひ学園に通う事を選択しました。私は、ふと思いました。年少から幼稚園に通って、あさひ学園と併行にして、下の子は保育園に預けてとなると家計は苦しくなるし、無理して来年幼稚園に行く事がMの為なのかと考え、入園は年中からでもいいという思いになりました。

Mは今、下の子が産まれて、私がMになかなかまう事が出来ない為、デイサービスも利用し、一人で通っています。出産前から、少しずつ場所、人に慣れてもらう為利用しています。四季の森が近い為、散歩によく行き、とても楽しそうです。私の不安をよそに、朝はバイバイと私に手をふり、笑顔で行きます。てんかんも少し落ち着いてきて、単語が少しずつ出るようになりました。

これからも悩みはつきないと思いますが、少しずつ成長しているMを家族で見守っていきたいと思います。



私たちの歩み

母

息子は生まれつき泣く力も哺乳力も弱く、発達の異常も指摘され、私は不安な毎日を過ごし、色々なところに相談しました。呼吸器の病気で入院し、その後関節の手術を受けてようやく退院した後、コロニーの紹介であさひ学園にたどり着きました。

あさひ学園では、特に私が先生やお母さん方に支えられ、息子の成長をわずかでも実感し次につなげていこうという気持ちになりました。一方コロニーでは早い時期に自閉症と診断され、同時に各種訓練を始めました。息子は毎日をあさひ学園で過ごしながら、心身ともに少しずつ成長していきました。新しくできることが増えるたびに、じわっと感動したのを覚えています。またお母さん方からの口コミで福祉サービスについても知ることができました。私の実母が重病になった時は、福祉サービスと家族の協力で、遠方まで看病に通うことができ、本当に助かりました。

就園や就学についても先生や先輩方の助言を受けて、教育機関と話し合いながら進路を決めました。

幼稚園では、親と離れて誰かを頼ることができるのが心配でしたが、案外当初から担当の先生を頼ることを覚え、また、母子分離後に再会した時、初めて寂しかったことを表現できるようになりました。さらに、友達や集団行動にも関心を向けるようになりました。特に発表会などでは、息子の成長を実感するとともに息子の能力を引き出すための配慮や日頃からの先生や友達の支援が伝わり、とても感動しました。

幼稚園での成長を実感したことで、小学校でも地域の子どもたちにふれて息子を知ってもらい、また息子にも地域に慣れ親しんでほしいという願いから、地域の小学校への入学を決めました。学校には難しいお願いをしたと思いますが、登下校や交流授業などに付き添いつつ、先生方や友達の理解と支援をいただいて通うことができました。徐々に学校生活にも慣れ、先生の指示も随分理解できるようになりました。発語も見られ始め、要求を相手に伝えようとする姿勢も出てきました。また人とのかわり合いは苦手ですが、交流ク

〈自閉症〉

5<人 15歳 療育手帳A判定

●1歳4ヶ月～ あさひ学園 あすなろ組

●2歳～ // 毎日組

●4歳～ あさひ学園と幼稚園との併行通園

●5歳～ 幼稚園

●6歳～ 小学校（特別支援学級）

●10歳～ 特別支援学校

ラスでは何かと気遣い手助けしてくれる子も徐々に増え、友達とのやり取りの中で発語も増えたのを覚えていきます。

現在は特別支援学校に在籍していますが、先生との距離がより近く、教科もスケジュール表なども理解度に合わせたもので、分かりやすくなっています。また身辺自立や体力づくり、偏食指導の時間も増え改善していきました。

偏食についてはあさひ学園の時代からかなり悩まされてきましたが、小学校から給食が始まると、小学校と療育施設および相談機関と家族が情報を共有し、粘り強く取り組みました。主食のごはんは保障し、他の主食（麺やパン）は無理強いしませんでした。おかずは一口頑張れば好きなものが食べられることにしました。すると、徐々にですが食わず嫌いだったものが少しだけ食べられるようになり、成長期を迎えて食欲も増進し、中2の頃から食べられる物が急に増えました。食に対する要求が少ない子でしたが、現在では何が食べたいと言えるまでになりました。

中学部の作業の時間は就労に向けて作業の姿勢・技術を学んでいます。何のために働くのかは分かりにくいと思いますが、その場において一緒に頑張りようと思える仲間と環境がとても大事だと思っています。先日の校外学習で友達と仲良くしている姿を見てちょっとホッとしました。

今後は卒後に向けて、生活していく上での楽しみがあり、友人との温かい時間が送れる居場所探しが大きな課題です。



発育・発達

公的な支援

ライフステージ別の支援

医療・訓練機関

おすすめ情報

親の手記

ただ…幸せに過ごしていったら

母

〈ADHD〉 Kくん 19歳
●3歳～ 幼稚園
●6歳～ 小学校
●9歳～ 名大受診
●12歳～ 中学校
●15歳～ 公立高校
●18歳～ 就職

予定日ぴったりに生まれた息子。初めての子供に、みんなに祝福されての出産でした。

幼稚園に入園する前に、親子サークルに入ったり、音楽教室に通わせたりしました。友達のおもちゃを窓から投げてしまい、謝りに行くと、「みんなすることだから、大丈夫。」と言われ、特に他の子との違いに気づかずに過ごしました。健診にも引っかからず、幼稚園に入園。みんなと同じようにお遊戯や鼓隊、当番もできました。少し運動が苦手だったので、体操教室やスイミングにも入れました。お友達と遊ぶことが大好きだったけれど、うまく言えなくて、物や人にあたることが多かった幼児期。2つ下の妹に手を出したので、親は長女を守るのに必死でした。

小学校に入学し、3年生になった頃、担任の先生から、「みんなと同じように、できていません。」と言われ、耳を疑いました。「えっ？ どういうことなの？」授業参観で、その意味が理解できました。リコーダーの発表会で息子だけ、みんなの周りをリコーダーを振り回して、歩き回っていました。その日から、スクールカウンセラーとの面談が、始まりました。1年の相談の結果、「病院に行きませんか？」と紹介状を渡されました。コロニーか、名大か、どちらも3ヶ月待ちとのこと。幸い、1ヶ月後に名大の親と子の心療内科で受診できました。

たくさんの問診票を書いていると、息子にあてはまることばかり。よく迷子になる、物を無くす、忘れ物が多い、音に敏感などなど。診断の結果は、注意欠陥多動性障がい、でした。今まで、周りから、しつげが悪いとか、育て方が悪いと言われて、叱ったりきつく言っていました。先生から「育て方や愛情不足では

なく、生まれつきの脳の障がいですよ」と言われ、ホッとしたのを覚えています。

落ち着いて授業が受けられるように、薬が処方されました。

その頃の息子の癒やしは、生まれたばかりの次女でした。

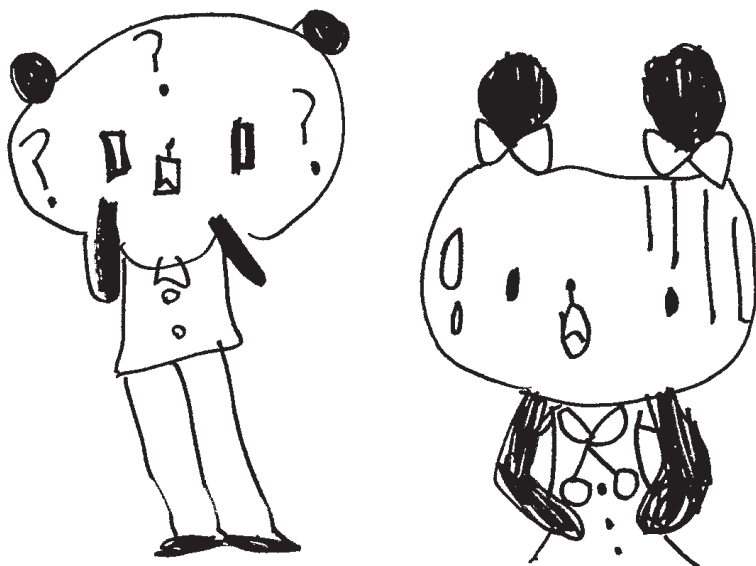
その次女が、保育園に1歳で入園することになり、園長先生に会いにいき、息子のことを話しました。その時にかけてくださった言葉が、忘れられません。「お母さん、(長男の障がい)大変でしたね。きっとこの子(次女)がお母さんを助けてくれますよ。」優しい言葉かけに、涙が溢れました。

中学2年生では、学校に行くといっただけなのに、先生から来ていませんと2回ほど、職場に電話がありました。無理に行かせず、休ませました。秋頃に体育祭のリレーで足の速さをみんなに誉められ、陸上を始めました。その頃から、学校が、楽しくなったようです。高校でも、陸上部に入り、同じ趣味の友達もたくさんできました。息子の側には、幼なじみの友達もいて、いつも守ってくれました。今でも、時々会っているようです。

今は、社会人として働いています。

人の役に立つ仕事があったらいいと言っていた息子にぴったりの仕事です。

ただ、この先もずっと、幸せな気持ちで過ごしていったら、と願っています。



歩み

母

妊娠期間中、特に問題もなく10月の中旬、息子は元気に産声をあげて生まれました。初めてかける言葉は【生まれてくれてありがとう】ではなく【普通に産んであげれなくてごめんね…】でした。息子は、口唇口蓋顎裂という顔面奇形でした。

出産した次の日には口腔外科、形成外科の先生にも診てもらい、【この子は他にも何かあると思う】と1人の先生が言われました。その時私は、この先生は、一体何を言っているの？家の子に限ってそんな訳ない！なんて失礼な事を言う先生なの！と、怒りと不安でいっぱいでした。

それから、生後2ヶ月で唇の形成手術、1歳半で口蓋の形成、中耳炎の手術など7回の手術を乗り越えました。

1歳には、普通に歩いて普通におしゃべりして、普通に家族とお出かけしてるんだろうな～っていう想像は見事に裏切られ、発語は一切なく外にだせば、止まるという事ができず、空を見あげながら側溝に落ちてしまいそうになったりと、家族でお出かけなんてとてもできる状態ではありませんでした。

2歳2ヶ月から、年中まで、あさひ学園に通いましたが、初めて手を繋いで散歩が出来た時の感動は、今でも忘れられません。小さな成長をすごいねえ～と、誉め言葉だけでなく、どれだけ大変な努力と時間から出来た事なのか、それを言葉で説明しなくとも分かち合える仲間があさひ学園でできました。

2歳で知的障害を伴う自閉症スペクトラム、その後、オピッツ症候群と診断されましたが、すぐには現実を受け入れることができず、この子を抱えて、この先一体どうしたらいいのか？と悩み、引きこもって【本当

〈自閉症スペクトラム・オピッツ症候群〉

Aくん 療育手帳A判定

●2歳2ヶ月～ あさひ学園 あすなる教室

●2歳6ヶ月～ あさひ学園 毎日組

●3歳～ 幼稚園とあさひ学園併行通園

●5歳～ 幼稚園

はしゃべれるんだよね？ママって言ってよ！】っとスヤスヤ寝ている息子を前に毎日泣き続ける日々が続きましたが、保健師さんや、あさひ学園の先生方に何度も相談に乗ってもらいながら少しずつですが息子の為に今できる事は何か？と前向きになる事ができました。

ゆっくりながらも、成長する息子を見守りながら2歳は毎日組に通い、年少と年中は、あさひ学園と幼稚園の併行通園。親や先生が言ってもやらない事も、お友達の力を借りるとできたり、教室に入れない息子在に優しく声をかけて迎えに来てくれたりと子供どうしの関わり合いによって、大人と過ごしているだけでは学べない大事なことを学びました。

年長になった今は、幼稚園は週3日、他の日は児童発達支援事業所に通っています。

児童発達支援事業所は、2歳7ヶ月から通っていて縦割りなので、お兄さんお姉さんから、たくさん刺激をもらいます。挑戦意欲がわき、お箸に挑戦してみたり、お勉強の時間にはなぞり書きを率先してやっているそうです。

親と離れて泊まる練習の為、ショートステイも利用したりと息子が楽しく安心して通える場所を増やしています。4月からは、特別支援学校への進学を予定しています。

息子が息子らしく、毎日笑顔で暮らせる様にこれからも家族でサポートしていきたいと思っています。



ありがとう

母

K君が産まれてきてくれて10年…あつという間の10年でした。母体治療の為、1354gの小さな体で急いで出てきてくれたK君。元気にすくすくと育てくれました。自閉症と診断され(3歳)療育施設に通園し始めて半年経った時に小牧市への転勤が決まりました。

K君は言葉がほとんど出でおらず、多動でおちつきがなく、年中児からの利用ということもあり、断られる園ばかりでしたが最後に相談した園だけはあたたかく迎えて下さいました。

5年生になった今でも幼稚園が大好きで絵本を借りて園へ行くと「K君、おかえり!!!」と優しく声をかけてくれます。

年中の冬、K君はあすなる教室と幼稚園の併行通園を始めました。

妹のAちゃんも言葉の遅れ、情緒不安定な面が気になったので同時期にあすなる教室を利用させてもらいました。

小牧へ来る前に通っていた療育施設は子供だけが通う施設でとても素晴らしい所でしたが、あさひ学園に通うようになってから親子がしっかり向き合う時間を作ることの大切さを知りました。子供の苦手な事に対してどう声をかけてあげ、どう支援すると良いのか、遊びの中で学んだり、発見したり、先生や他のお母さん達と話し合いの中でしっかり考えることができました。

現在、K君は支援学級、Aちゃんは普通級ですばらしい先生方と優しいお友達に囲まれ、支えられて楽しく学校生活を送っています。成長とともに心の面、体の面と家族だけではケアすることが難しくなってきた

- Kくん 10歳
(自閉症B判定)
●4歳～療育センター
●5歳～あすなる教室
幼稚園併用
●7歳～小学校(特別支援教室)
デイサービス利用
●10歳～移動支援利用

- Aちゃん 8歳
(広はん性発達障害)
●2歳～あすなる教室
●3歳～毎日組
●4歳～幼稚園
●7歳～小学校

ので自立に向けてデイサービスや移動支援の利用を始めました。

デイサービスは学校が終わってから1～2時間程度の利用ですが皆と一緒に宿題をしたり、ゲーム感覚で作業の中に遊びを取り入れて課題に取り組んだり楽しく過ごしています。

移動支援は同性の先生と温水プールに行ったり、公共交通機関を使ってお出かけをしています。自分で選び、自分が決める、そして伝えること!! 1対1だから、時間をかけてゆっくり活動ができて、今まで知らなかったK君の一面が見られるようになりました。本人だけでなく家族それぞれの時間ができてお互いの為に良い時間が作れるようになりました。これから先、様々な悩みが出てくるかもしれませんが、周りの方にたくさん相談して支え合って子育てを楽しんでいこうと思います。

そして、小牧のこと、福祉のこと、子育てのこと…何もわからず困り果てた私にこの「はじめのいっぽ、はたくさんの情報をくれて前に進む力を与えてくれました。これからも人との出会いを大切に感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。



＊ あとがき ＊

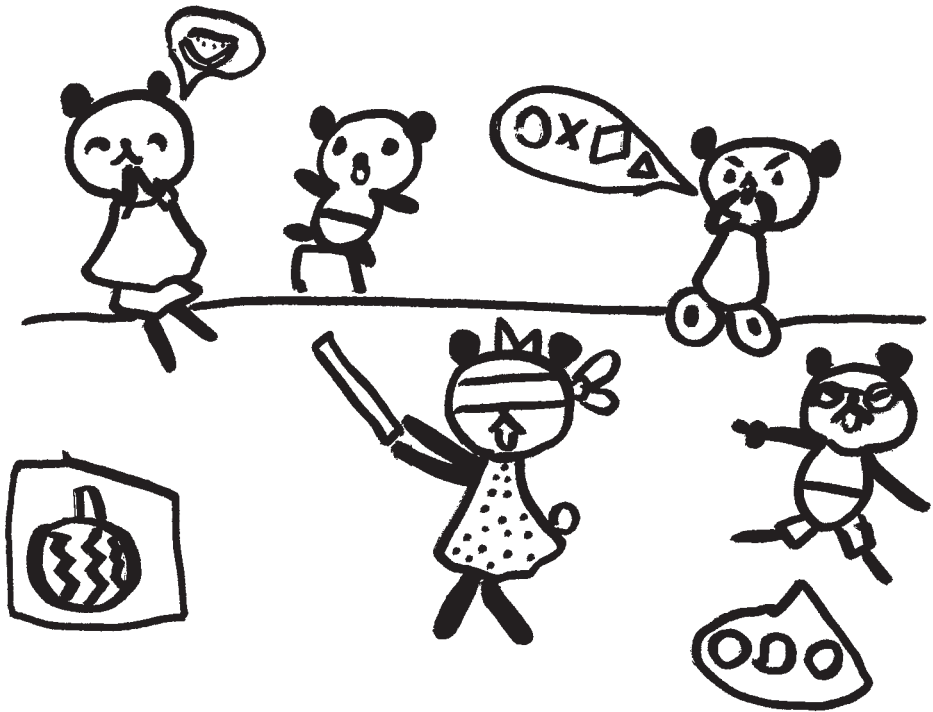
何年か前の私たちがそうだったように、お子さんの育ちで悩んでいる、この先どうすればよいのか苦しんでいる方が、今も小牧にいらっしゃるはずです。そうした方々に、私たちの経験を活かすことはできないだろうか…。そんな時、「まさにこういうガイドブックが欲しかった！！」という冊子に出会いました。それは、日進市とじゃんぐるじむさんが協働で発行されたものでした。「これをお手本として、私たちも小牧バージョンをつくりたい！！」ということでスタートしたのがこの「はじめのいっぽ in Komaki」です。

まずは、自分一人で抱え込まず、悩みを共有できる人とのつながりを持ってみませんか？信頼できる相談員さん・お医者さん・療法士さん、同じ悩みを持つお母さん仲間、生活での困りごとを助けてくださるヘルパーさん、子どもたちの日々の活動を応援してくださる園や学校の先生・事業所のスタッフさん…そうした出会いに支えられて、私たちの「今」があるからです。

親として今できること、その「はじめのいっぽ」を踏み出すのに必要な情報を得るための労力と時間を少しでも減らし、将来への見通しを持つことで、保護者の皆さまが元気に子育てを楽しんでほしい、そんな願いを込めて平成24年に初版を作りました。あれから7年、制度や市役所の組織体系が変わり、一方で保護者やお子さんをサポートしてくださる関係機関も増えました。この2度目の改訂版が、少しでも皆さまのお役に立てたら、少しでも辛さを軽減するお手伝いができたら、同じ悩みをもつ仲間としてとても嬉しく思います。

最後になりましたが、編集作業にあたり、小牧市障害者自立支援協議会事務局さんが多忙な通常業務があるにもかかわらず、大変なとりまとめをしてくださいました。保健センターの保健師さん、あさひ学園の先生、パパママサポートあおぞらさん、障がい福祉課の方、そして新たに加わってくださった若いお母さんやすてきなイラストを寄せてくださった子どもさん、また会議には参加できなくても原稿や情報をご提供された方々、本当に多くの関係者の皆さんの熱い想いが結集してできた冊子です。「小牧市にはこんなに多くの支援者がいてくださる！」そのことを再認識でき、感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、「よっしゃ、明日からも子育てがんばるぞ！！」と元気で希望が湧いてきました。皆さんでこれからも力を合わせて、小牧をいっそう優しいまちにしていきたいと思います。

ポプラの会 はじめのいっぽin小牧 制作委員会一同





発行日 2019年3月

発行 小牧市障害者自立支援協議会

ポプラの会 はじめのいっぽ in 小牧 制作委員会